

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人

西予総合福祉会

令和 3 年度 事業報告

社会福祉法人 西予総合福祉会

今年度も感染力の強い変異株により、新型コロナウイルス感染症が収束しない日々が続いており、法人内でも複数の事業所で利用者やその関係者、職員の感染が確認された。中でも感染が確認された保育園では市と協議し、休園を余儀なくされたこともあったが、法人全体では保健所・市等関係各所との連携や各職員の自覚ある日々の感染回避行動により、感染の拡大防止に努めることが出来た。

ただ残念ながら、当初予定していた法人 50 周年記念行事の企画・実施は、感染拡大防止を優先し、記念誌とイメージソングの制作以外は、イベントを安心して開催できる年まで延期することとした。

記念誌は法人の足跡と共に先人や O B 職員の先進的な発想や福祉人としての懐の深さが綴っており、私たち職員にとってもその歩む方向が記してある。イメージソングは西予市出身で西予市歌「いつの日も」を手掛けた Y u r i c a。氏が制作。明るい曲調、私たちの想いがつながる歌詞と歌声で、法人内外で曲を披露出来る場を増やし、地域を元気にする契機になるよう活用したい。

さて、法人運営においては、4 月には老人事業部の新規事業として、通所型サービス A 陽よりの事業を開始した。この事業は要支援 1・2 等の対象者に対して、ミニデイサービスを実施しながら、高齢者の閉じこもり予防や自立支援を図るものである。年度初めには、週に一度で 1 日 4 名の利用者数が、年度末には週 3 回の開所。1 回 8 名程度の利用増につながっている。

次に明間保育園を令和 4 年度から、下宇和保育園の分園にすることを決定した。同園は地区内での園児数・出生数の減少で、同年齢の集団で子どもを育てることが困難になっている。更に平成 29 年の皆田・明間小学校の統合により、年長児が下宇和保育園を希望することも多く、園の在り方を検討した結果、分園により同園での保育を継続することとした。保護者や地域の方には説明会等を通して、ご理解いただいた。

そして、学童保育ななほし中川は、中川小学校運動場内に西予市が今年度新しく建物を整備頂き、年度末 3 月 14 日から、同舎を使つての事業を開始した。以前利用人数が多い時は、ななほし中川と小学校内音楽教室の二ヶ所に分散しており、不便であった。今回、市や小学校長のご尽力により、学校敷地内一ヶ所で事業出来ることとなり、利便性が向上し、より質の高い学童保育が提供できる体制が整った。

一方、松葉診療所は 3 月末日で休院に至った。平成 26 年 6 月以降、微力ながら地域医療体制の一員として役割を担っていたが、院長自身の健康面を考慮した勇退に加え、後継医師不足により休院を決定した。引き続き、医師を探していくとともに懸案である松葉寮等の嘱託医や看護職員の体制も模索している。

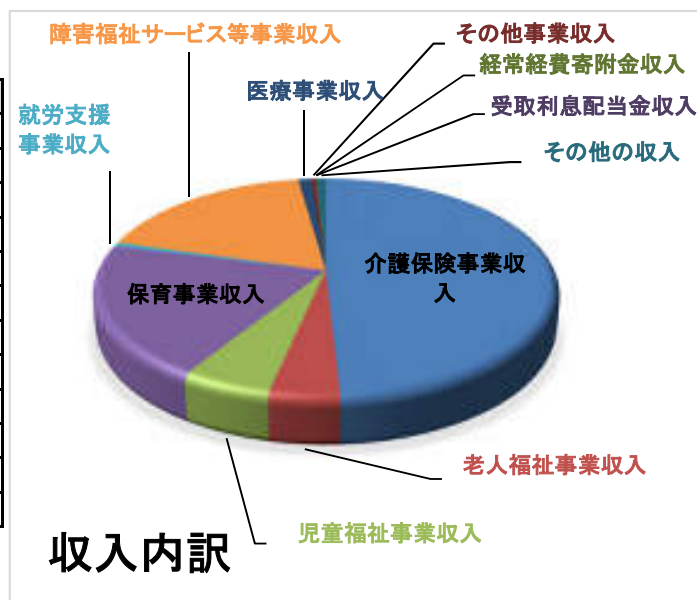
最後に、事業計画の数値目標の到達であるが、事業活動収支差額が前年度比 86.5%の 4 億 400 万円であり、目標の前年度比 3%増は達成できなかった。新型コロナウイルスの影響等や堅調な事業所の収支差額の減少によるものである。今後更に経営内容を分析し、適正な経営に努めていきたい。それと、正職員の離職率も 5.3%と目標値の 5%を下回った。コロナ禍でのストレス等の現状があるとはいえ、緊急の課題として、働きやすい職場づくり、上司・仲間による支援の強化を図っていく必要がある。

I. 事業活動による収入・支出額

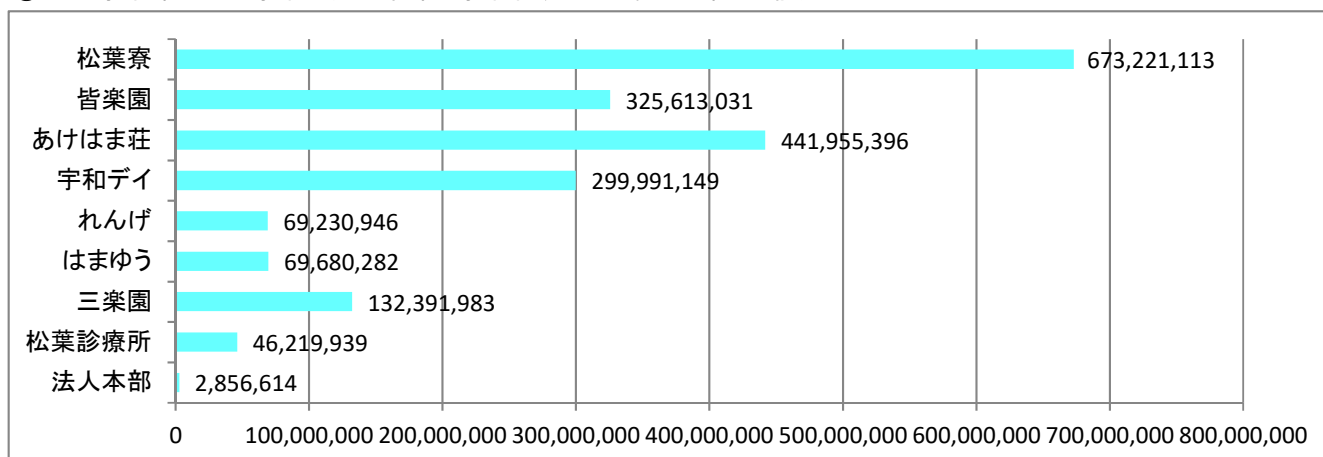
1. 事業活動による収入内訳

単位:円

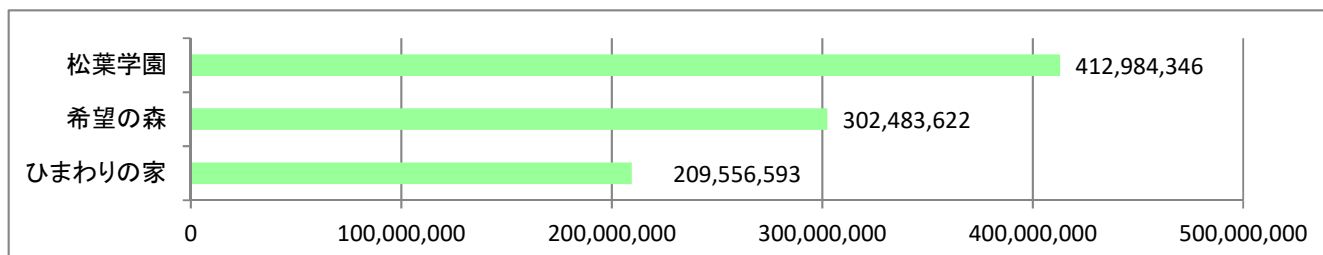
勘定科目	金額	率
介護保険事業収入	1,832,669,676	49.13%
老人福祉事業収入	161,490,905	4.33%
児童福祉事業収入	206,965,353	5.55%
保育事業収入	738,006,582	19.78%
就労支援事業収入	22,952,605	0.62%
障害福祉サービス等事業収入	683,478,930	18.32%
医療事業収入	40,655,396	1.09%
その他事業収入	12,999,929	0.35%
経常経費寄附金収入	2,163,000	0.06%
受取利息配当金収入	207,063	0.01%
その他の収入	28,654,174	0.77%
事業活動収入計	3,730,243,613	100.00%



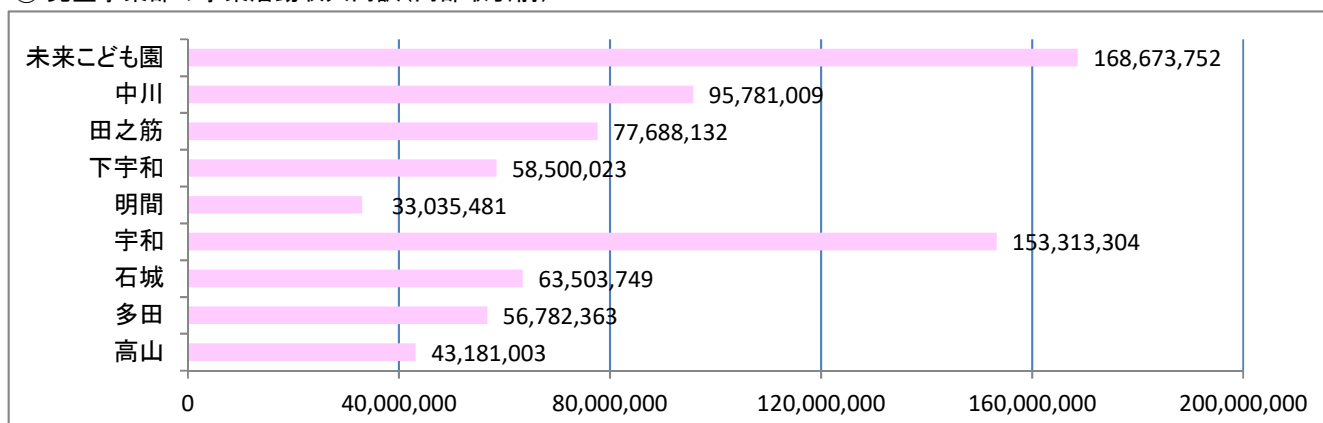
① 老人事業部・公益事業・法人本部の事業活動収入内訳(内部取引前)



② 養護・障がい事業部の事業活動収入内訳(内部取引前)



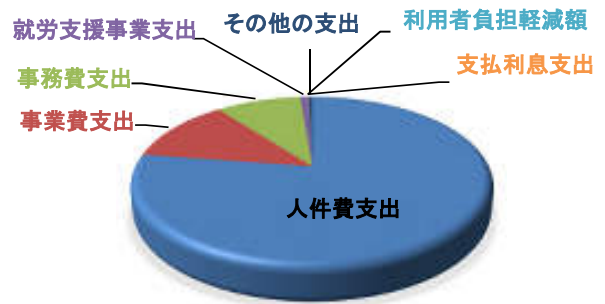
③ 児童事業部の事業活動収入内訳(内部取引前)



2. 事業活動による支出内訳

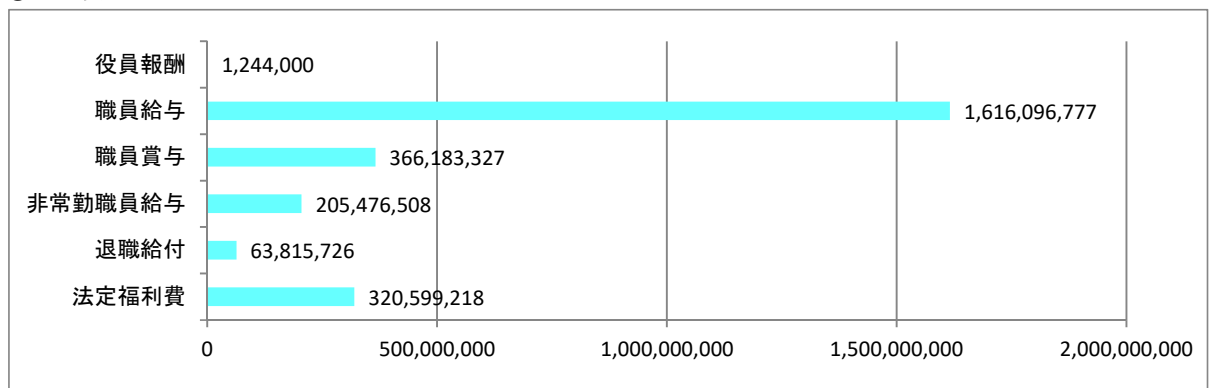
単位:円

勘定科目	金額	率
人件費支出	2,573,415,556	77.37%
事業費支出	407,015,878	12.24%
事務費支出	303,139,837	9.11%
就労支援事業支出	27,808,790	0.84%
利用者負担軽減額	1,001,456	0.03%
支払利息支出	1,312,572	0.04%
その他の支出	12,597,255	0.38%
事業活動支出計	3,326,291,344	100.00%

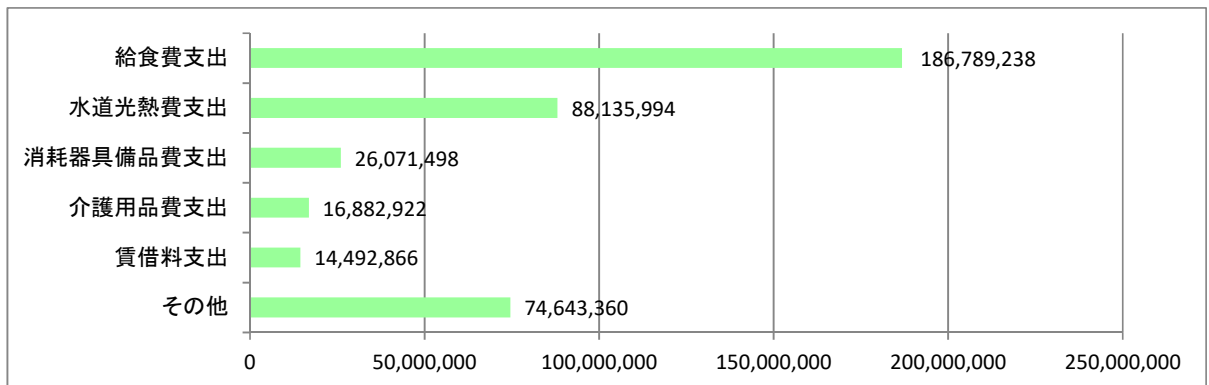


支出内訳

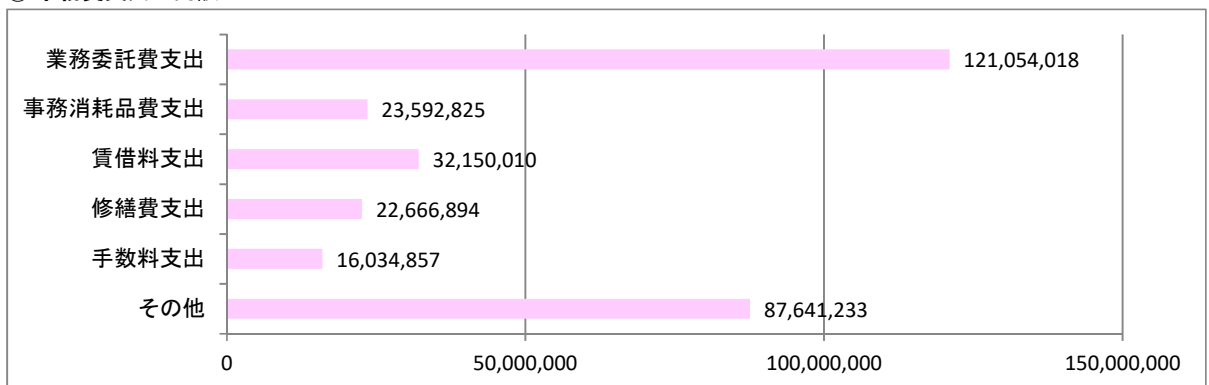
① 人件費支出の内訳



② 事業費支出の内訳

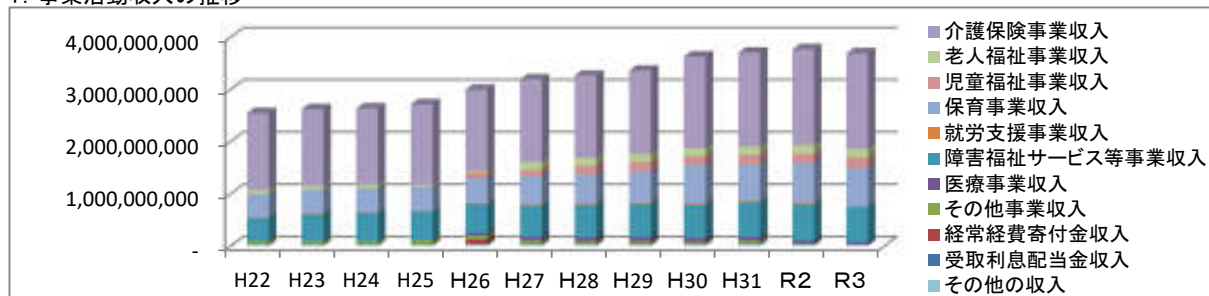


③ 事務費支出の内訳

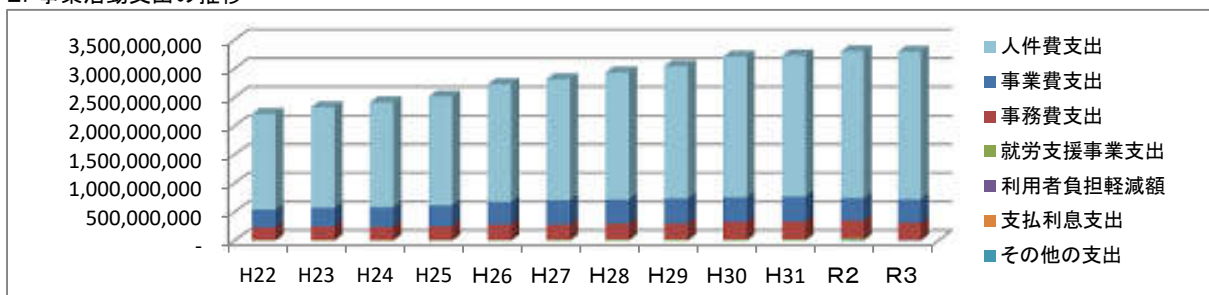


Ⅱ. 事業活動収支の推移(平成25年度より新会計基準適用 平成24年度以前は新基準に科目を振替て表示)

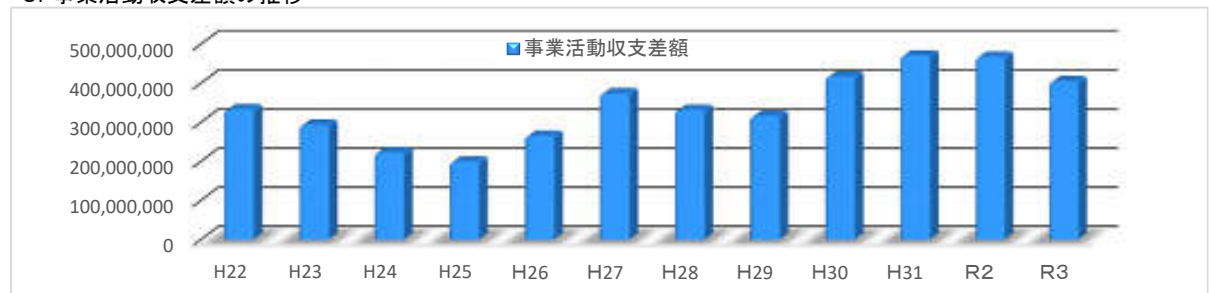
1. 事業活動収入の推移



2. 事業活動支出の推移



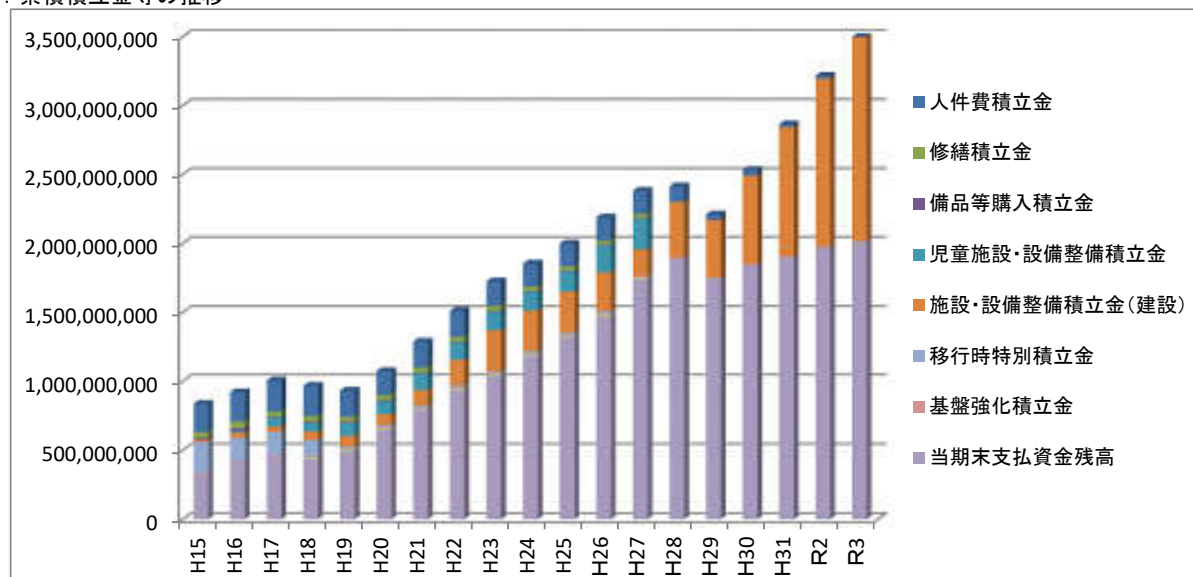
3. 事業活動収支差額の推移



勘定科目	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
事業活動収支差額	315,107,476	416,171,257	470,262,762	466,848,846	403,952,269

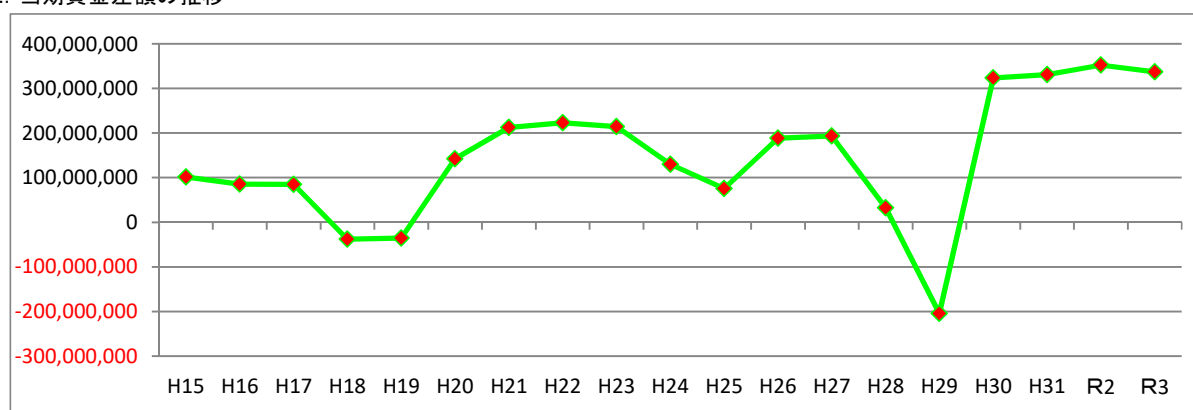
Ⅲ. 積立金等の推移(※平成28年度より児童施設・設備整備積立金と建設積立金を統合し施設・設備整備積立金とする)

1. 累積積立金等の推移



勘定科目	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
人件費積立金	40,790,000	40,790,000	20,790,000	20,790,000	20,790,000
修繕積立金		0	0	0	0
備品等購入積立金		0	0	0	0
児童施設・設備整備積立金		0	0	0	0
施設・設備整備積立金(建設積立金)	421,520,219	645,520,219	939,520,219	1,222,220,219	1,518,220,219
移行時特別積立金		0	0	0	0
基盤強化積立金		0	0	0	0
福祉の里推進活動積立金		0	0	0	0
当期末支払資金残高	1,748,716,019	1,848,088,254	1,904,791,874	1,974,454,925	2,015,664,584
合計	2,211,026,238	2,534,398,473	2,865,102,093	3,217,465,144	3,554,674,803

2. 当期資金差額の推移

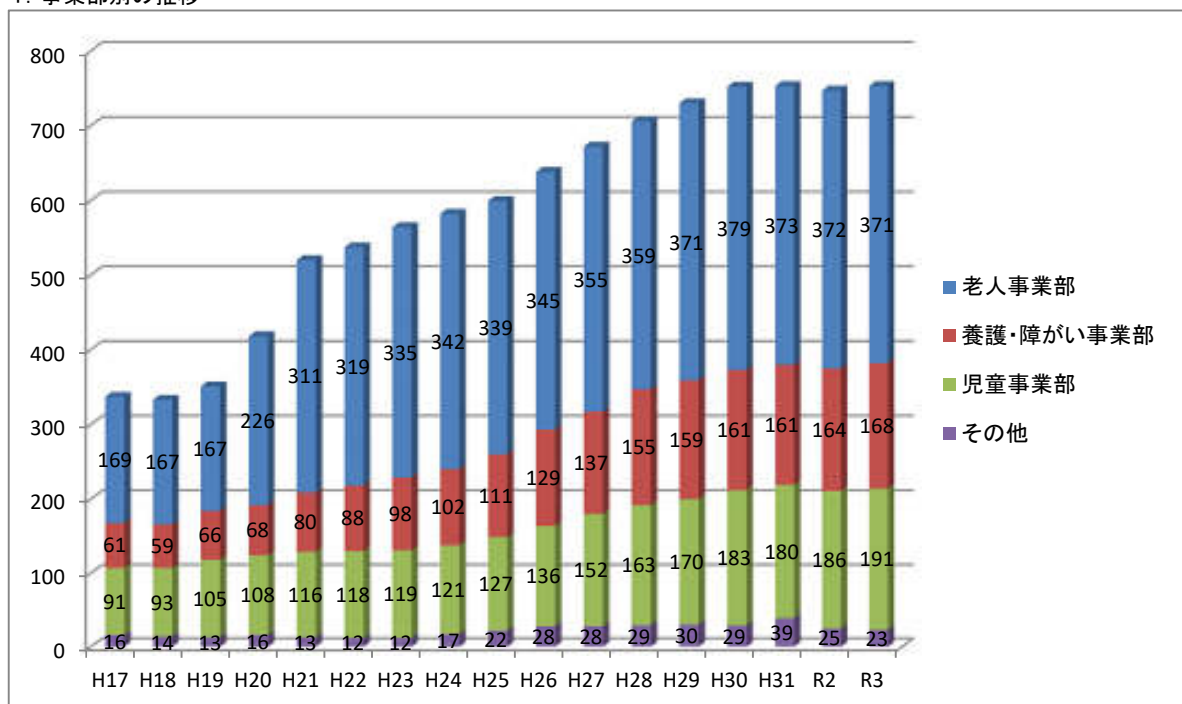


勘定科目	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
当期資金差額	-204,421,572	323,372,235	330,703,620	352,363,051	337,209,659

※ 当期資金差額は(当期積立預金積立額-当期積立預金取崩額)+当期資金収支差額
296000000 0 41209659 337209659

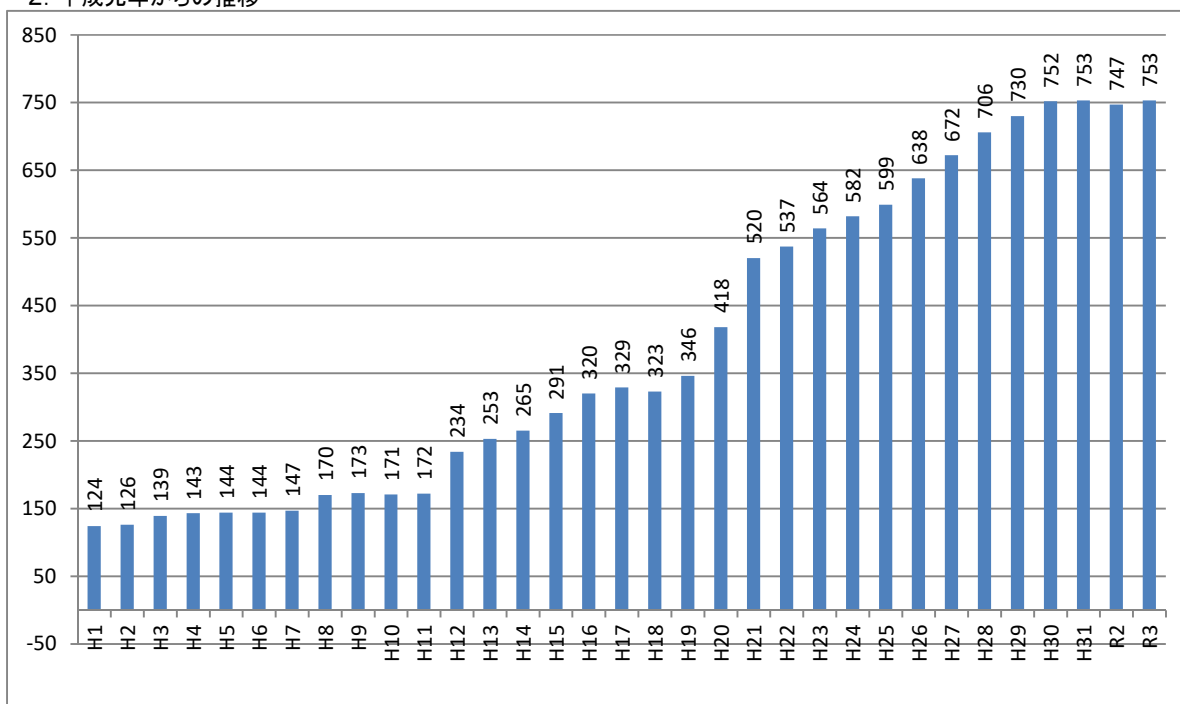
IV. 職員数の推移

1. 事業部別の推移



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
老人事業部	359	371	379	373	372	371
養護・障がい事業部	155	159	161	161	164	168
児童事業部	163	170	183	180	186	191
その他	29	30	29	39	25	23
合計	706	730	752	753	747	753

2. 平成元年からの推移



次に項目別に報告

1. 会議の開催

(1) 評議員会

第1回（令和3年6月23日）

議案第	1号	令和2年度社会福祉事業収支決算の承認について
議案第	2号	令和2年度公益事業収支決算の承認について
議案第	3号	定款の一部変更について
議案第	4号	任期満了に伴う理事の選任について
議案第	5号	任期満了に伴う監事の選任について
議案第	6号	会計監査人の選任について

報告第	1号	令和2年度事業報告について
-----	----	---------------

第2回（令和4年3月18日）

議案第	7号	理事辞任に伴う補欠選任者の推薦について
-----	----	---------------------

(2) 理事会

第1回（令和3年5月26日）

議案第	1号	令和2年度事業報告の承認について
議案第	2号	令和2年度社会福祉事業収支決算の承認について
議案第	3号	令和2年度公益事業収支決算の承認について
議案第	4号	「老人事業部門」運営規程の改訂について
議案第	5号	「養護・障がい事業部門」運営規程の改訂について
議案第	6号	規則規程の改訂について
議案第	7号	任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任について
議案第	8号	評議員選任・解任委員会の招集について
議案第	9号	任期満了に伴う評議員選任候補者の推薦について
議案第	10号	定時評議員会の開催及び議案について

報告第	1号	運営協議会委員の選任について
-----	----	----------------

報告第	2号	職務の執行状況について
-----	----	-------------

第2回（令和3年6月24日）

議案第	11号	理事長の選定について
議案第	12号	常務理事及び常任理事の選定について
議案第	13号	「養護・障がい事業部門」運営規程の改訂について
議案第	14号	規則規程の改訂について

第3回（令和3年9月21日）

- 議案第 15号 「老人事業部門」運営規程の改訂について
議案第 16号 規則規程の改訂について
議案第 17号 令和3年度社会福祉事業第1次収支補正予算(案)について

- 報告第 3号 予備費の使用に関する報告について
報告第 4号 明間保育園の運営について
報告第 5号 松葉診療所について
報告第 6号 選択制DC（ライフプラン制度）について
報告第 7号 職務の執行状況について

第4回（令和3年12月23日）

- 議案第 18号 規則規程の改訂について
議案第 19号 令和3年度社会福祉事業第2次収支補正予算(案)について
議案第 20号 令和3年度公益事業第1次収支補正予算(案)について
議案第 21号 明間保育園の事業廃止の同意について
議案第 22号 下宇和保育園の分園設置の同意について
議案第 23号 うわまち未来こども園「延長保育事業」の休止の同意について
議案第 24号 松葉診療所の休院の同意について

- 報告第 8号 職務の執行状況について
報告第 9号 職員の懲戒について報告

第5回（令和4年2月1日）書面

- 議案第 25号 養護老人ホーム三楽園「新築工事設計監理委託業務」の入札実施について

第6回（令和4年2月28日）書面

- 議案第 26号 評議員会の開催及び議案について
議案第 27号 理事辞任に伴う補欠選任者の推薦について

第7回（令和4年3月18日）

- 議案第 28号 「児童事業部門」運営規程の改訂について
議案第 29号 規則規程の改訂について
議案第 30号 令和3年度社会福祉事業第3次収支補正予算(案)について
議案第 31号 令和3年度公益事業第2次収支補正予算(案)について
議案第 32号 令和4年度事業計画(案)について
議案第 33号 令和4年度社会福祉事業収支予算(案)について
議案第 34号 令和4年度公益事業収支予算(案)について

議案第	35号	令和3年度愛媛県指導監査の実施結果について
議案第	36号	養護老人ホーム三楽園「新築工事設計監理委託業務」契約の承認について
議案第	37号	旧二木生小学校「解体工事設計監理委託業務」の入札実施について
議案第	38号	常任理事の選定について
議案第	39号	施設長の任免について
報告第	10号	職員の懲戒について
報告第	11号	職務の執行状況について

(3) 監査会（令和3年5月17日・18日）

令和2年度、西予総合福祉会の決算について監査、承認を得た。

(社会福祉事業及び公益事業)

(4) 評議員選任・解任委員会

第1回（令和3年6月8日）

議案第 1号 任期満了による評議員の選任について

(5) 運営協議会（令和3年6月）

新型コロナウイルス感染防止の観点から書面で、

令和2年度 事業報告及び決算報告、各事業部事業概要報告をおこなった。

「法人決算概要」及び「施設別運営状況」は、別紙のとおり

2. 令和3年度：数値目標達成結果

(1) 定年退職者を除く正職員の離職率を5%以下とする。

目標	目標値	結果	R3	R2	H31
5%以下	5.0%以下	×	5.3%	4.4%	6.7%

(2) 労災保険対象事故の発生件数を前年度対比30%削減させる。

目標	目標値	結果	R3	R2	H31
前年比30%削減	7件以下	×	15件	9件	11件

(3) 事業活動資金収支差額を前年度対比3%増加させる。

目標	目標値	結果	R3	R2	H31
前年比3%増加	480,853千円以上	×	403,940千円	466,848千円	470,689千円

(4) 一人当たりの時間外労働を月平均5時間以下とする。

目標	目標値	結果	R3	R2	H31
月平均5h以下	5h以下	○	3.9h	3.7h	5.5h

(5) S2昇格試験受験要件指定資格の資格取得者を15人以上とする。

目標	目標値	結果	R3	R2	H31
15人以上	15人以上	×	7人	7人	13人

(6) ストレスチェック組織分析結果の健康リスクを95以下とする。

目標	目標値	結果	R3	R2	H31
95以下	95以下	×	104	102	107

(7) ホームページ閲覧数を前年度対比20%増加させる。

目標	目標値	結果	R3	R2	H31
前年比20%増加	61,349以上	○	80,711	51,124	63,848

(8) 障がい者雇用率について法定雇用率(2.3%)を達成する。

目標	目標値	結果	R3	R2	H31
法定雇用率達成	2.30%以上	○	2.94%	3.36%	2.93%

事業報告 : 松葉寮

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	393,605,860	404,928,860	426,246,478	425,590,703
支出(円)	379,256,207	387,636,242	404,874,467	387,349,595
差額	14,349,653	17,292,618	21,372,011	38,241,108

○状況

- ・広域特養については、ユニット統合により、夜勤者を1名減らしたこともあり人件費が大幅に減となった。
- ・短期は、コロナの影響による利用者数の減、また利用者の死亡や入所も多く収入減となっている。
- ・かえでは、コロナによる利用控えの影響が考えられる。

施設・設備整備積立金 : 25,000,000円

利用者推移

特 養	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	26,065	26,238	26,223	26,347
前年比(%)	99.4%	100.7%	99.9%	100.5%

短 期	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	5,792	6,226	6,211	5,740
前年比(%)	100.0%	107.5%	99.8%	92.4%

かえで	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	1,220	808	1,045	993
前年比(%)	94.3%	66.2%	129.3%	95.0%

○状況

- ・特養は、市民病院との連携により、入院日数を減らすことができ、稼働率がよくなっている。
- ・短期、かえでについては、年間を通じてコロナの影響による利用者減が考えられる。

施設整備

- ・正面玄関自動ドア交換
- ・非常食更新
- ・移動式リフト
- ・ストレッチャー

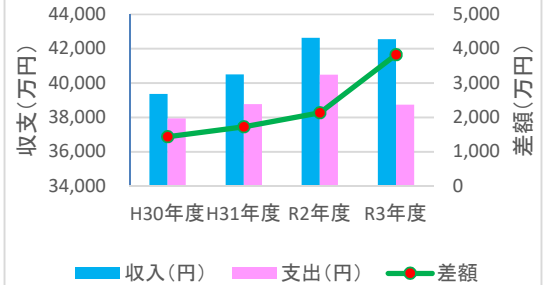
人材育成・研修

- ・コロナにより、現地での研修参加はできなかったが、オンラインによる研修に取り組むことができた。
- ・アテント(おむつ)マイスター

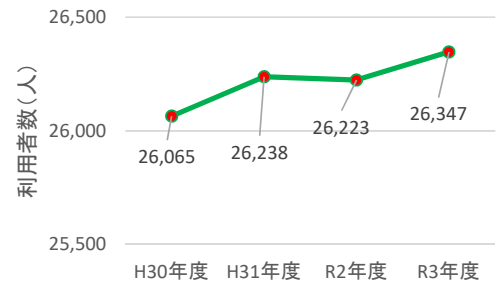
トピックス

- ・全国老人福祉協議会研究大会で事例発表(オンライン)奨励賞を受賞
- ・8月職員のコロナ感染発生対応

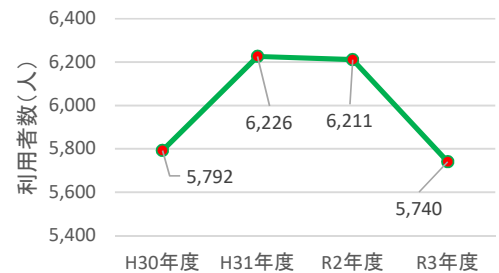
事業活動収支推移



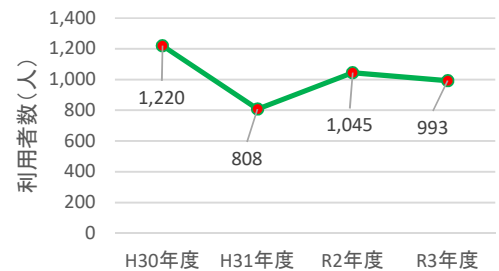
利用者推移(特養)



利用者推移(短期)



利用者推移(かえで)



事業報告 : 開明の杜

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	220,449,059	240,646,032	246,590,466	247,630,410
支出(円)	195,892,534	201,104,553	218,836,150	214,120,880
差額	24,556,525	39,541,479	27,754,316	33,509,530

○状況

開明の杜: 人件費に関しては前年度比較 99.2%と大きな差はなかった。ノーリフティングケアの普及啓発事業への投資としてリフト等の購入が重なった。コロナ禍の影響もあり、行事やイベントなどは開催できていない。
短期入所: 昨年度から今年度前半は90%後半の稼働率が続いたが、夏頃より利用者の施設入所等が重なり減少した。その後も、回復する程の利用には繋がらず前年度に比べ5.2%の減少となった。
ヘルパーステーション: 利用者数は増加するも生活支援等の利用が多く、収入が見込める身体介護の件数が伸びていない状況が続いている。コロナの影響も受けたが、職員はフル稼働に近い状態で訪問できている。

施設・設備整備積立金 : 6,000,000円

利用者推移

特 養	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	9,723	10,312	10,281	10,186
前年比(%)	—	106.1%	99.7%	99.1%

短 期	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	2,670	3,253	3,407	3,229
前年比(%)	—	121.8%	104.7%	94.8%

居 宅	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	2,703	2,758	2,628	2,624
前年比(%)	100.2%	102.0%	95.3%	99.8%

訪問介護	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	3,181	3,228	3,697	4,334
前年比(%)	82.6%	101.5%	114.5%	117.2%

○状況

開明の杜: 入居者の平均要介護度は4.4と年々重度化しており、入院者や退所者も増加傾向にある。空白日の前年度比較も131%増であった。日常の体調管理による入院数の減少と、スムーズな入退所時支援で空白日を減少させたい。
短期入所: 年度の前半は、安定した利用者の確保で稼働率も安定していたが、今夏、長期利用者の施設入所や利用中止(永眠)が重なり利用数が減少し、その後も新規利用者の確保ができず80%前半の月が目立った。
ヘルパーステーション: 前年と比べパート職員の日数が減少したが、訪問回数は増加している。職員の休憩時間や移動時間などの問題も含め、業務改善を行う。
居宅介護支援事業所: 介護支援専門員6名が担当を持ち相談支援を行うが、コロナ禍の影響が利用控え等が目立ち、サービスに結びつかない。

施設整備

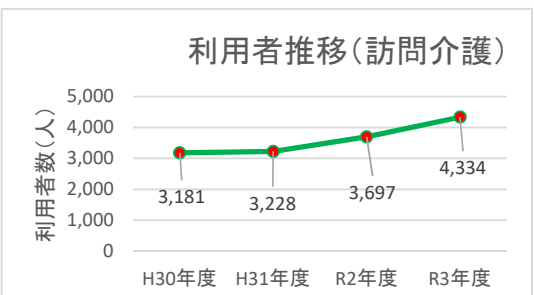
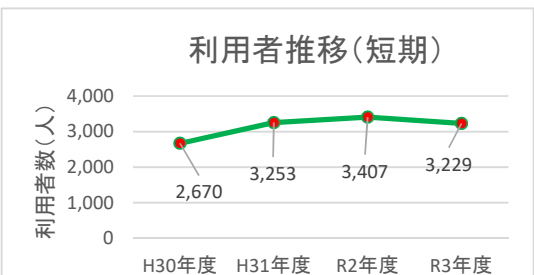
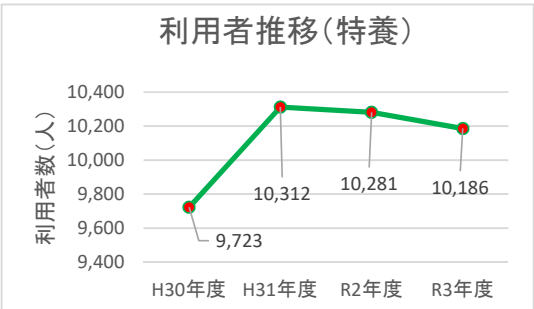
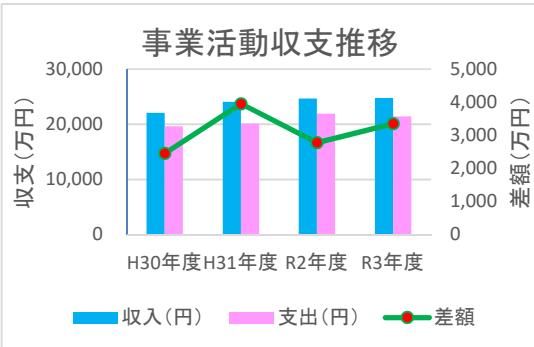
- ・床走行式電動介護リフト(2台) ・介護リフトスマイル
- ・移乗サポートロボットHug (介護ロボット導入支援事業補助金)
- ・保菌スリッパ保管庫 ・業務用冷蔵庫(厨房)

人材育成・研修

愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業に選定され、事業の導入・推進に力を入れた一年であった。その他の研修については開催数も減少し、方法もオンラインでの開催が主となった。OJTや内部研修についても、コロナの影響を受ける事が多かったが予定の研修を行うことができた。

トピックス

ノーリフティングケアに力を入れ、職員の腰痛予防・負担軽減に繋がり、利用者の拘縮予防・安心安全な介護への転換となる年であった。補助金等も活用し介護ロボットの導入も進んだ。また、老人事業部内でのプロジェクト活動で、事業部全体での推進もできた。紙オムツの知識向上の為に専門職員を育成。コロナの影響を受け、訪問介護・居宅の利用数も減少した。施設での感染者を出さないための研修や対応を継続し、面会等の判断もその都度行っている。地域との交流や行事など、開催できない期間が続いている。



事業報告 : 皆楽園

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	319,942,689	325,622,966	327,692,886	325,613,031
支出(円)	285,953,158	287,876,915	298,175,113	309,735,647
差額	33,989,531	37,746,051	29,517,773	15,877,384

○状況

・拠点では特養でカバーできているが、短期と通所で赤字となり苦しい事業活動収支差額となる。
 ・収入面では短期と通所ではコロナの影響による利用者の減少があり、特に短期では特養入所者と同じユニットを利用する為、制限をより厳しくした事も影響した。また、通所の利用者の平均介護度も低く更なる収入減に繋がった。
 ・支出面では人件費の増額、消耗品の高騰に加え、施設の老朽化による大型修繕や物品の買替えの影響が大きく、収支差額としては大幅減となった。

利用者推移

特 養	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	18,000	17,995	17,811	17,974
前年比(%)	100.0%	100.0%	99.0%	100.9%

短 期	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	2,662	2,664	2,689	2,567
前年比(%)	96.0%	100.1%	100.9%	95.5%

通 所	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	3,618	4,220	4,394	4,135
前年比(%)	89.0%	116.6%	104.1%	94.1%

○状況

・稼働率は特養98.5%、短期70.5%、通所73.6%であった。
 ・特養に関しては前年比も100.9%となり、長期の入院も少なかった上に迅速な入所対応もあり、安定した稼働率が確保できた。短期と通所に関しては、コロナの影響が大きく、稼働率の低下に繋がった。今後はコロナ禍でも、極力安定した稼働率を維持できる様、より工夫した対応を検討していく。

施設整備

・ホールエアコン室外機基盤取替修繕 ・ベッドキャスター交換(11台分)
 ・温水ボイラー真空式温水機取替え工事・浄化槽調整槽機器修繕
 ・ノートパソコン2台(補助金活用)・入浴装置電動ストレッチャー修繕
 ・(通所)リフト付シャワーキャリー設置工事 ・浴室改修工事

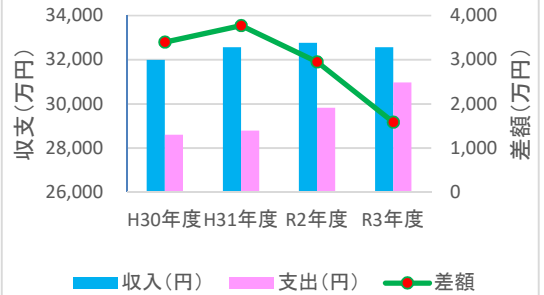
人材育成・研修

・外部研修の数は少なかったが、コロナの感染状況によって、現地での研修とオンライン研修を併用して実施する事が出来た。
 ・施設内研修は、必須の研修を中心に内部OJTを兼ねて担当者が実施した。
 ・技能実習生2名とともに介護技能実習評価試験、日本語検定試験N3試験に合格し、1名は夜勤にも入るなど順調に就業している。

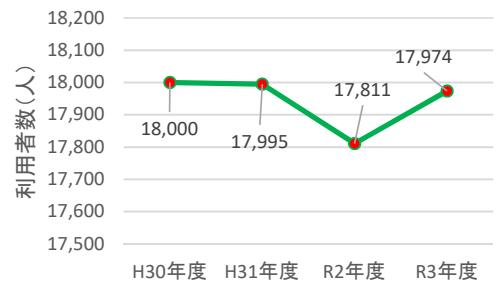
トピックス

オンライン面会や施設内共有ファイルの活用による情報共有などICTの足掛かり的な取り組みを行えた。また、長引くコロナ禍で、近場の外出や施設内行事を増やし、活気ある生活を心掛けた。

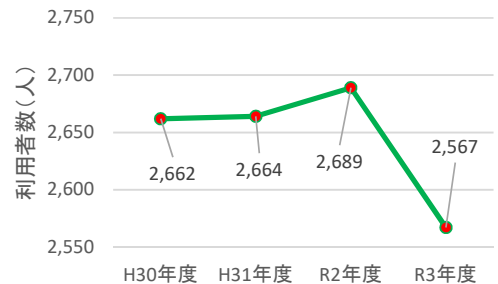
事業活動収支推移



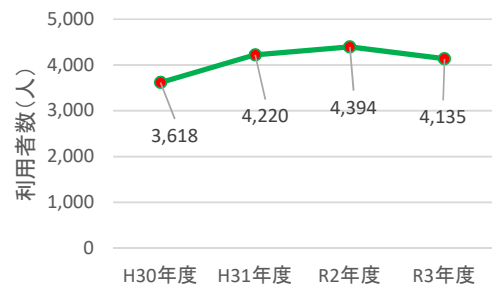
利用者推移(特養)



利用者推移(短期)



利用者推移(通所)



事業報告 : あけはま荘

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	421,339,735	428,565,088	434,268,753	441,955,396
支出(円)	363,921,771	376,395,401	391,141,364	394,334,034
差額	57,417,964	52,169,687	43,127,389	47,621,362

○状況

特養は嘱託医との連携によって高い稼働率を保持してきたが一昨年度より徐々に重度化が進行。入院による空床が散見された1年だった。しかし重度化(平均介護度4.5)は請求単価の上昇につながり併設の短期入所や通所介護の実績増もあいまってケアハウスを除くグループ全体の収支差額は人件費単価増額分の影響にとどまった状況である。

施設・設備整備積立金 : 26,000,000円

利用者推移

特 養	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	31,077	30,723	30,576	30,494
前年比(%)	102.9%	98.9%	99.5%	99.7%

短 期	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	1,677	1,728	1,739	1,775
前年比(%)	117.0%	103.0%	100.6%	102.1%

通 所	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	4,401	4,379	4,306	4,660
前年比(%)	97.2%	99.5%	98.3%	108.2%

○状況

特養は年度当初と年度末に長期入院による空床が目立ち前年度割れの結果となった。また空床期間の長期化につながる待機者不足が深刻化しはじめた年度でもあった。待機者に入所の案内をしても地理的理由で見送るケースが相次ぐ等あけはま荘特有の問題が本格的に影響しはじめた。今後は南予老施協施設、法人内特養との連携をより深め、早期入所希望者へのアプローチに活路を見出したい。一方で、短期入所や通所介護へのニーズは安定しており積極的受入を継続したいと考えている。

施設整備

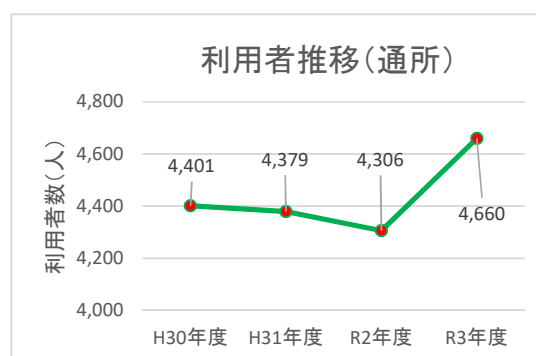
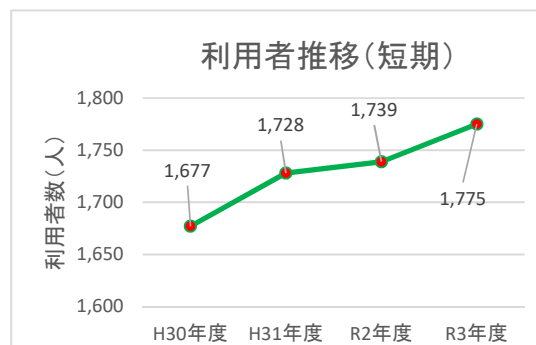
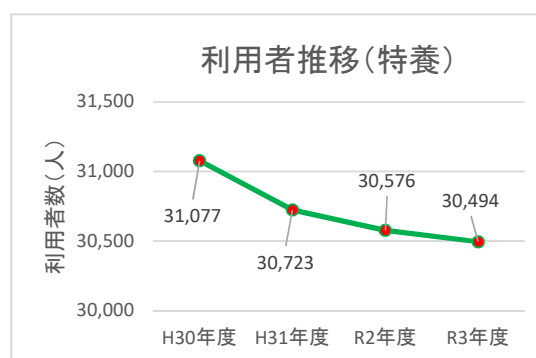
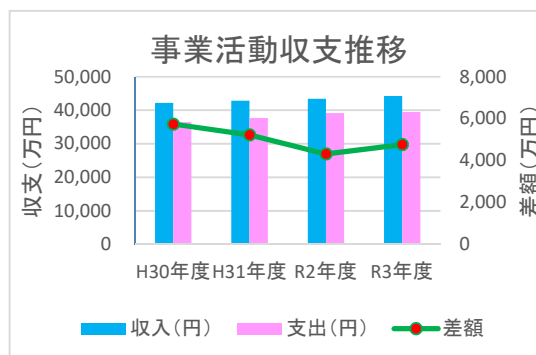
- ・屋上防水亀裂部分修繕工事
- ・ボイラー配管漏水修繕工事
- ・スリッパ殺菌ロッカー設置

人材育成・研修

- ・OJTの推進
- ・内部職員会

トピックス

- ・ノーリフティングケア普及啓発モデル事業所に選定され年間を通し働きやすい職場環境構築に取り組んだ。
- ・通所介護の利用者が結核を発症されたため40名に上る職員が血液検査対象となる。うち1名が「潜在性結核感染症」と診断され内服治療中。日常生活に影響なし。



事業報告 : 宇和デイ

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	311,235,883	307,771,398	312,686,578	299,991,149
支出(円)	295,877,578	295,567,894	293,543,142	297,185,206
差額	15,358,305	12,203,504	19,143,436	2,805,943

○状況

宇和デイグループの事業活動収支は厳しい状況。要因は、福祉の里、ななほし中川の利用者数減。あんしんの家は通所は伸びているが、短期の利用者数減。リハビリ歩は利用者数が増え、職員数を2名減にし、人件費抑制に努めた。訪問看護は利用者数が年々伸びている。うつのみやさんの家は職員1名減にし、収支は良い結果となった。新たな取組、陽よりに関しては思った以上に利用者数が伸びず収支減に繋がった。また、福祉の里、規模区分変更により、介護保険事業の減収がおおよそ400万円程度にのぼった。

利用者推移

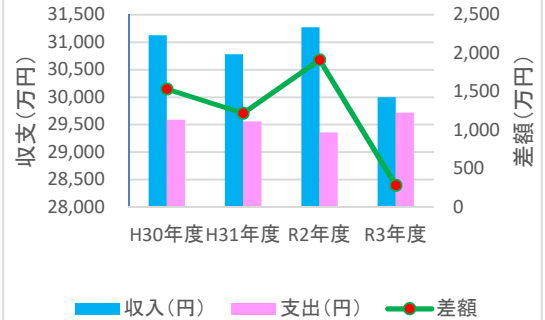
	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	35,908	34,648	34,096	35,328
前年比(%)	93.6%	96.5%	98.4%	103.6%

※陽よりを含む

○状況

宇和デイグループの利用者数は、前年度と比較し、福祉の里814名、ななほし中川509名、あんしんの家39名、陽より860名の利用。うつのみやさんの家74名、歩(通所)430名、歩(訪看)421名の増。利用者数減の施設に関しては他施設への入所、入院、逝去されたことで、利用者減となった。今後も利用者獲得に向け取組んでいく。

事業活動収支推移



利用者推移



事業所別 事業活動収支推移

※令和3年度: 通所型サービスA陽より事業開始

福祉の里	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	65,435,226	97,206,512	114,227,967	105,114,700
支出(円)	62,086,097	85,908,004	95,577,692	98,657,374
差額	3,349,129	11,298,508	18,650,275	6,457,326
陽より	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	—	—	—	3,401,207
支出(円)	—	—	—	8,284,513
差額	—	—	—	△ 4,883,306
ななほし中川	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	49,507,120	51,196,577	49,824,631	41,669,849
支出(円)	41,187,067	41,611,518	44,584,422	42,681,720
差額	8,320,053	9,585,059	5,240,209	△ 1,011,871
うつのみやさんの家	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	37,314,742	36,731,923	38,833,743	38,220,841
支出(円)	35,305,278	33,332,938	39,660,472	35,637,219
差額	2,009,464	3,398,985	△ 826,729	2,583,622
あんしんの家	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	47,647,198	47,897,528	51,440,375	48,108,374
支出(円)	38,299,389	40,998,698	46,764,265	47,499,483
差額	9,347,809	6,898,830	4,676,110	608,891
歩(通所)	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	29,109,848	41,822,580	39,249,734	41,515,284
支出(円)	27,626,216	50,371,377	46,188,280	42,610,707
差額	1,483,632	△ 8,548,797	△ 6,938,546	△ 1,095,423
歩(訪問看護)	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	—	3,770,241	19,110,128	21,960,894
支出(円)	—	6,451,668	20,768,011	21,814,190
差額	—	△ 2,681,427	△ 1,657,883	146,704

事業報告 : 福祉の里 G

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	65,435,226	97,282,012	114,227,967	108,515,907
支出(円)	62,086,097	81,822,526	95,577,692	106,941,887
差額	3,349,129	15,459,486	18,650,275	1,574,020

○状況

規模区分変更により、介護保険事業の減収がおおよそ400万円程度にのぼる。

ADL維持等加算Ⅲを取得中であるが、翌年度ⅠまたはⅡの算定が可能となるよう、全利用者のパーセルインデックスを作成した。

また、人件費など支出の増加もみられる。

現在の利用者数や送迎業務可能な職員の配置を鑑みて、公用車台数の見直しを図り、登録から年数が経過するなど、今後廃車等の検討を要すると見込まれる車両を売却処分した。

陽よりに関しては思った以上に利用者数が伸びず収支減に繋がった。

利用者推移

福祉の里	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	6,013	8,981	10,488	10,534
前年比(%)	141.1%	149.4%	116.8%	100.4%

陽より	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	-	-	-	860
前年比(%)	-	-	-	-

○状況

通所介護事業の利用者の中重度者が多くなっており、その医療及び介護依存により医療機関長期入院や特養入所による利用中止が増加した。

その要介護の高さから中重度者の新規利用や利用回数追加も年間を通じて多く希望していただいたが、収入としては減収となった。

陽よりは今年度からの事業であり民生委員会、ケアマネ等へ宣伝を行ったが、想像していたより利用者数が伸びなかった。

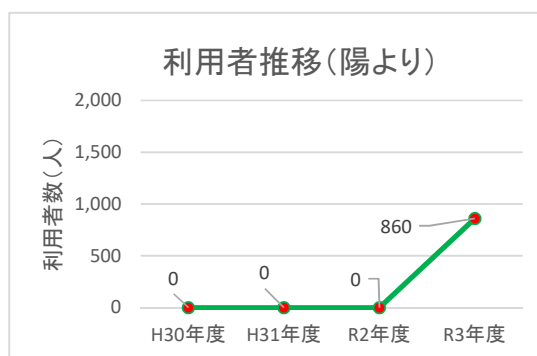
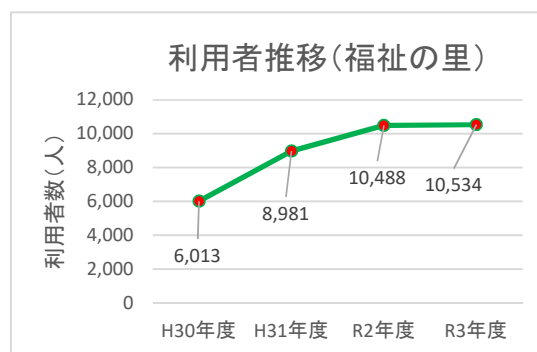
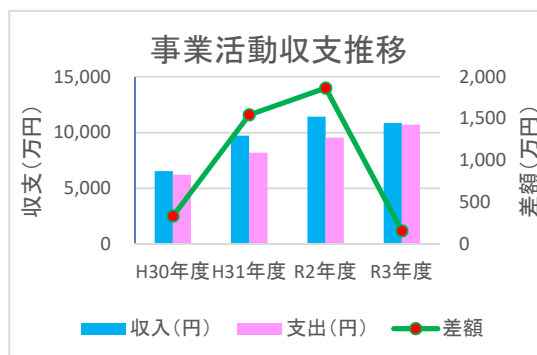
施設整備

- ・ミニマルチチャリ 温水設備修繕 女性トイレ便器の更新
- ・給茶機の更新 歩行補助機 軽自動車車椅子福祉車両の更新
- ・ティルトリクライニング車椅子ファンクーラー
- ・給水管破損による漏水修繕工事

人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・宇和デイグループ合同職員会

トピックス



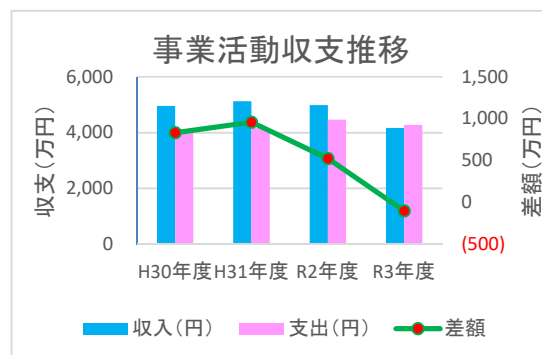
事業報告 : ななほし中川

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	49,507,120	51,196,577	49,824,631	41,669,849
支出(円)	41,187,067	41,611,518	44,584,422	42,681,720
差額	8,320,053	9,585,059	5,240,209	△ 1,011,871

○状況

通所、短期共に利用者減となったことで、収入減となった。支出については、開設から10年以上が経ったことで、空調機やリフトの修理など修繕や備品の買い替えなどが増えている。人件費は、異動があり職員一人がパート職員に代わっている。3月に入り新規の受け入れがあるので、積極的に受け入れをしていく。



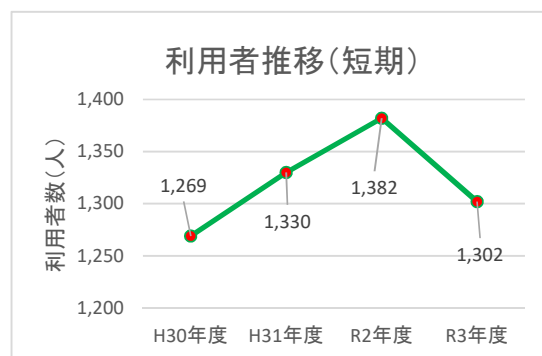
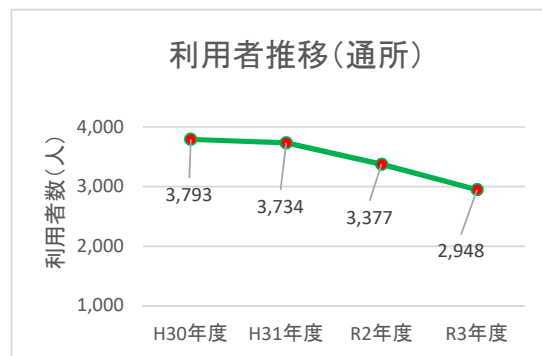
利用者推移

通 所	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	3,793	3,734	3,377	2,948
前年比(%)	141.1%	98.4%	90.4%	87.3%

短 期	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	1,269	1,330	1,382	1,302
前年比(%)	95.7%	104.8%	103.9%	94.2%

○状況

通所、短期共に利用回数が多い利用者複数人が、施設への入所や逝去されたことで、大幅に利用者減となった。新規の相談は断ることなく受け入れていたが、昨年までと比べて新規の相談も少なく、入所されたり退院できない方が続き、利用につながらない方も多かった。また、県外家族等の接触による待機やコロナのワクチン接種、感染を気にして休まれる方も多くおられた。



施設整備

- ・入浴用リフトの修理
- ・空調機の修理

人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・宇和ダイグループ合同職員会

トピックス

事業報告 : うつのみやさんの家

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	37,314,742	36,731,923	38,833,743	38,220,841
支出(円)	35,305,278	33,332,938	39,660,472	35,637,219
差額	2,009,464	3,398,985	△ 826,729	2,583,622

○状況

令和3年度より職員が1名減った為、入浴日を設定したり、土曜日、日曜日の勤務を2人体制にするなど、大幅な業務改善を行った。認知症対応型としてのサービス提供の質を落とすことなく、職員の満足もある職場環境作りに取り組めた。

利用者推移

G H	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	3,262	3,169	3,174	3,248
前年比(%)	107.3%	97.1%	100.2%	102.3%

○状況

体調面は安定している利用者が多く、利用率は安定している。ただし、転倒リスクの高い利用者が多く、年度末に1名骨折して入院となってしまった。転倒リスクへの対応が今後の課題である。
令和2年から導入しているスタンディングマシンは、使用方法が職員に定着し、活用できている。

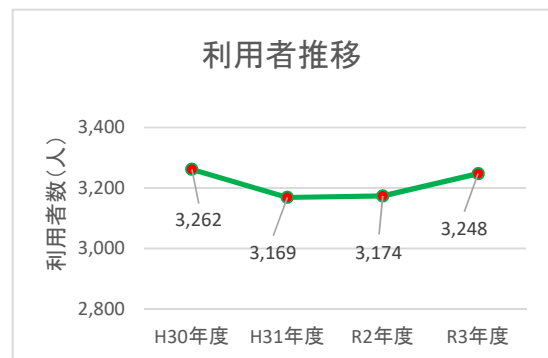
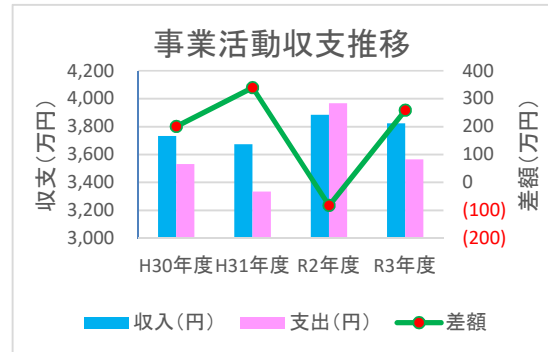
施設整備

新規の設備の導入は特に無かった。

人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・宇和デイグループ合同職員会

トピックス



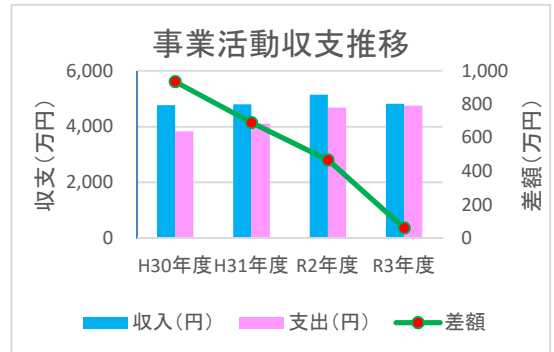
事業報告 : あんしんの家

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	47,647,198	47,897,528	51,440,375	48,108,374
支出(円)	38,299,389	40,998,698	46,764,265	47,499,483
差額	9,347,809	6,898,830	4,676,110	608,891

○状況

通所は、前年度と比べ、伸びているが短期、利用者が減となったことで、収入減となった。また、平均介護度も低くなっており厳しい状況。人件費に関しても支出の増加もみられるため、無駄のない運営を心掛けた。来年度、職員の見直しを行い人件費等を押さえていく。



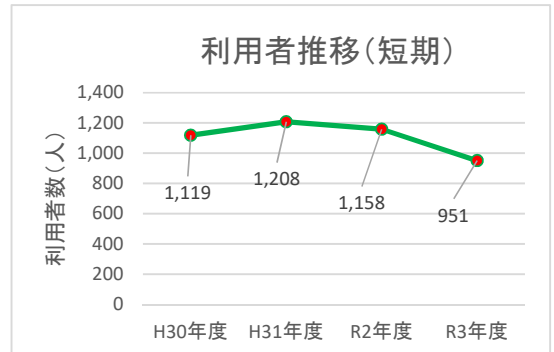
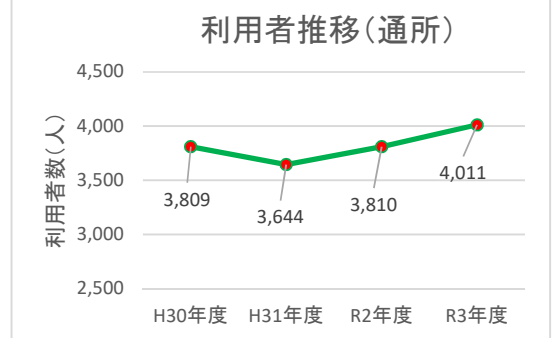
利用者推移

通 所	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	3,809	3,644	3,810	4,011
前年比(%)	104.8%	95.7%	104.6%	105.3%

短 期	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	1,119	1,208	1,158	951
前年比(%)	99.9%	108.0%	95.9%	82.1%

○状況

利用者数は前年度と比べ年間通所は延べ201名のプラスであるが、短期は240名減となり、全体で利用者数39名減となった。定期的に利用されていた方がご逝去されたこともあり利用者数伸びなかった。今後も新規利用者獲得に向けキントーン等を活用し、臨時利用の受け入れを積極的に行い利用者数アップを目指す。



施設整備

人材育成・研修

宇和デイサービスグループ内の研修のみであったがそれも中止になることが多かった。

トピックス

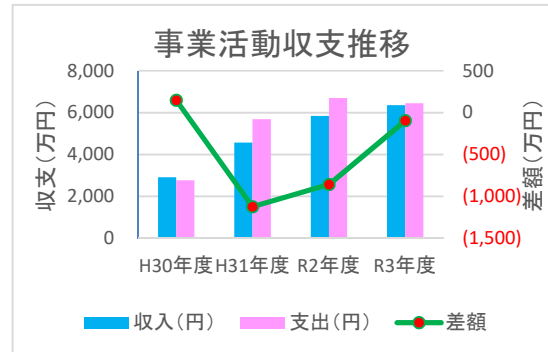
事業報告 : 歩

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	29,109,848	45,592,821	58,359,862	63,476,178
支出(円)	27,627,622	56,823,045	66,956,291	64,424,897
差額	1,482,226	△ 11,230,224	△ 8,596,429	△ 948,719

○状況

昨年度に対し、収入8%up、支出6%downとなった。稼働率に対しては、居宅へ空き状況を連絡し新規獲得に働きかけを行ったことと、職員数を昨年度より2名減らし人件費抑制に努めたことが結果となった。



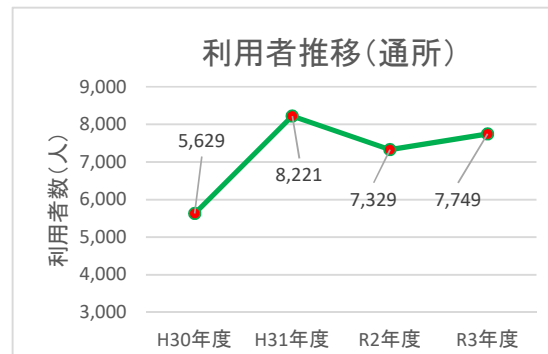
利用者推移

通 所	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	5,629	8,221	7,329	7,749
前年比(%)	115.8%	146.0%	89.1%	105.7%

訪問看護	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	—	594	3,378	3,732
前年比(%)	—	—	568.7%	110.5%

○状況

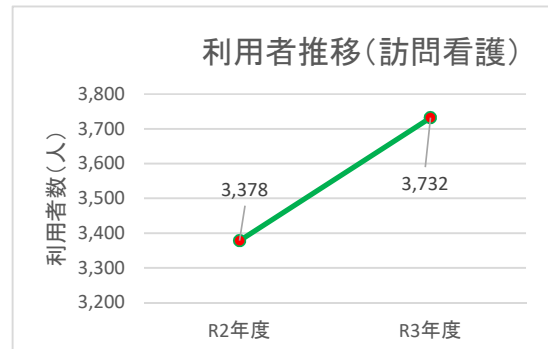
通所・訪看ともに件数は伸びている。昨年と比較すると、コロナ禍の影響が徐々に薄れ(慣れ)てきたと考えられ、感染予防の為休まっていた利用者が利用再開されたことが大きな要因である。訪看は新規利用獲得に動くことに徐々に効果が出てきているのではないかと考えられる。



施設整備

人材育成・研修

法人内研修であっても日中職員外出が困難となっており、内容について精査し可能な範囲で参加している。施設内研修会は中止している。外部講師の研修会は、感染予防を十分に行った上、半日回開催した。



トピックス

通所定員をAMとPM各20名に変更。職員を2名減(移動、退職)。利用枠はほぼ埋まっており、休む利用者をどう減らしていくかを検討していく。
訪看は新規をどう増やしていくかを検討。特に訪問看護件数が少ないため、職員・体制を含め改革していく。

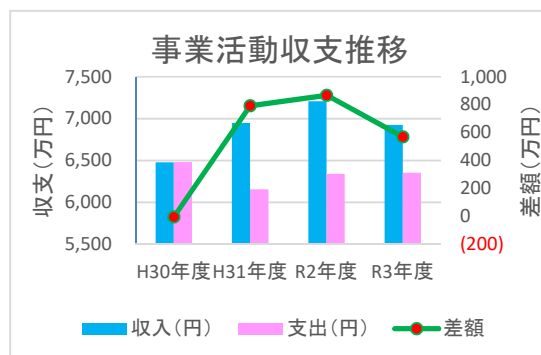
事業報告 : ケアハウスれんげ

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	64,756,493	69,480,952	72,064,278	69,230,946
支出(円)	64,789,413	61,556,821	63,386,384	63,532,910
差額	△ 32,920	7,924,131	8,677,894	5,698,036

○状況

- ・原因:入院やご逝去による退去が複数件あり、稼働率が96.5%と前年度を大きく下回った。
- ・動向:年齢とともに認知症の発症や進行、身体機能の衰えが顕著となるが、介護度には直接反映されにくく、介護職員の負担増が介護報酬の増額につながりにくい。
- ・積立金等:固定資産取得や大規模改修はほぼ実施していないが、収支の状況により積立はできていない。

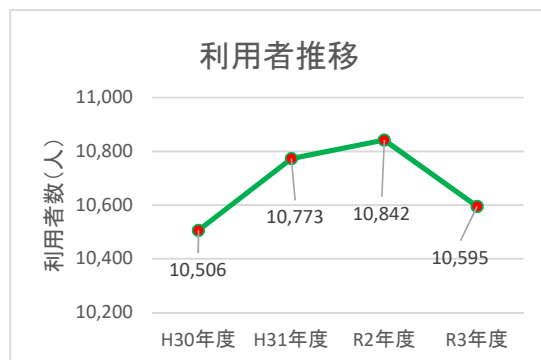


利用者推移

軽費	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	10,506	10,773	10,842	10,595
前年比(%)	98.3%	102.5%	100.6%	97.7%

○状況

- ・原因:年間の入院者15名(前年度8名)のうち、10日間以上の入院者10名(前年度5名)であった。また、ご逝去による退去が2名(前年度0名)であり、入居までの空室が22日間必要としたことなどにより稼働率の低下となった。
- ・ニーズ等:待機者として、前年度から変わらず約100名の登録がある。



施設整備

- ・液晶モニター1台(オンライン面会補助金)
- ・温水ボイラー修理
- ・談話コーナーブラインド修理

人材育成・研修

- ・ハラスメントの研修
- ・新型コロナウイルス対策の研修
- ・認知症対応型サービス事業管理者研修1名
- ・認知症介護実践者研修1名

トピックス

- ・長期にわたるコロナ禍のなか、面会の制限やボランティア受入れ中止により隔離された環境となりがちではあるが、コロナの感染状況を見ながら、近隣へドライブに出かけるなど気分転換を図った。

事業報告 : ケアハウスはまゆう

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	67,315,460	71,025,376	70,073,307	69,680,282
支出(円)	58,780,874	61,476,961	62,179,617	60,822,949
差額	8,534,586	9,548,415	7,893,690	8,857,333

○状況

数名の入退居はみられたが、安定した稼働率で推移し過去数年と大差ない収支実績を残すことができた。加齢に伴う重度化で転倒などリスクが高まりつつあるがセンサー等業務の効率性を高める機器導入を含めた対応を研究し安心できる利用者の生活と安定した収益確保を目指したい。

施設・設備整備積立金 : 6,000,000円

利用者推移

軽 費	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	10,152	10,779	10,783	10,823
前年比(%)	96.1%	106.2%	100.0%	100.4%

○状況

体調を崩された利用者が目立ったが、確実に見守りのできる環境を整備するなど職員間で工夫を重ね昨年比増の実績を確保した。

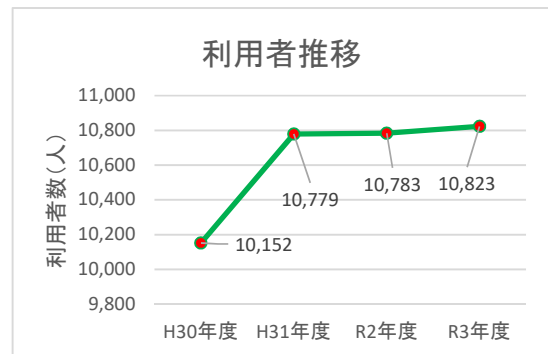
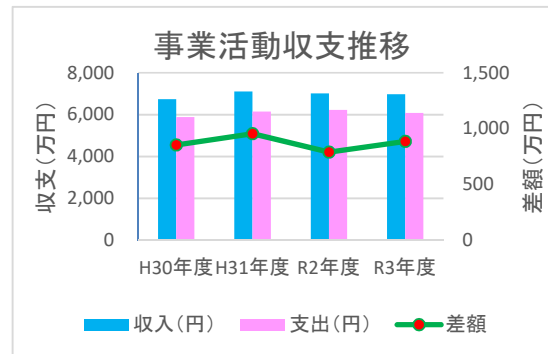
施設整備

- ・浴場循環ポンプ取替工事
- ・避難誘導灯取替工事
- ・スプリンクラー設備修繕

人材育成・研修

- ・OJTの推進
- ・内部職員会

トピックス



事業報告 : 三楽園

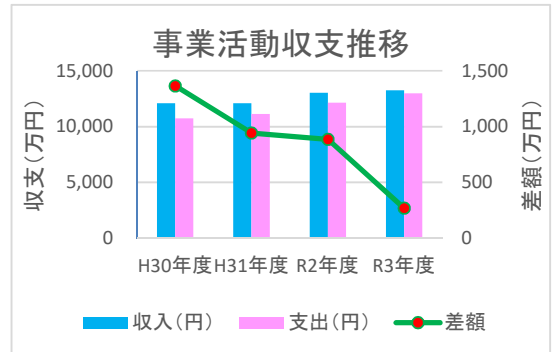
事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	120,828,245	120,759,139	130,253,682	132,391,983
支出(円)	107,178,662	111,332,525	121,405,961	129,701,555
差額	13,649,583	9,426,614	8,847,721	2,690,428

○状況

・収入前年度比較1.6%増は、利用者年間延べ人員の確保ができたことによる増収である。
 ・支出前年度比較6.8%増は、人件費ベースアップによる増及び職員1名増員である。また、施設老朽化により、修繕費の増額によるものである。

施設・設備整備積立金 : 3,000,000円

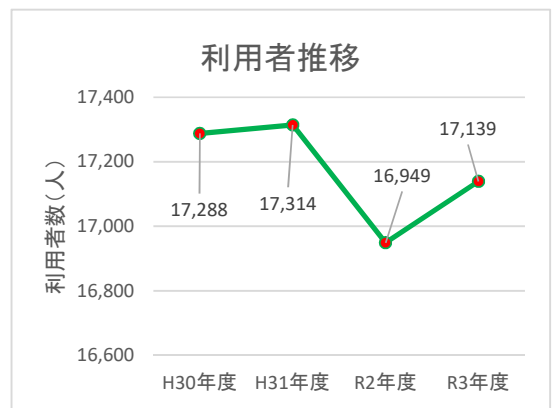


利用者推移

養 護	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	17,288	17,314	16,949	17,139
前年比(%)	97.7%	100.2%	97.9%	101.1%

○状況

本年の平均稼働率が93%であり、前年度と比較しても1.1%増となっており、入院者も前年度と比較して62%減にできたことで、利用者数が前年比で101%確保することができた。しかし、今後は、更に加齢と共にADLの低下から入院・退所となる利用者が増加することが予測され、養護待機者も減ってきている中で利用者確保は困難になってきている。



施設整備

- ・発電機(HONDA)※災害時対応用 (ガスボンベ対応型)
- ・キャノンプロジェクターLV-WX370(J) ※OJT研修・利用者娯楽に使用

人材育成・研修

- ・コロナ禍で、満足のいく職員研修会の実施が困難な中で、感染症実践研修会やオンライン研修会を開催し、できる限り職員の質の向上に繋げるように努めた。
- ・三楽園福祉避難所として、西予市と合同で避難者受入れ訓練を行った。施設のつくりなどから受入れが大変であることを実際に体験し、多くの課題が職員間に残った。

トピックス

コロナ禍で、地域との交流会が自粛や中止される中でも、できる限りの地域貢献に努めた。毎年恒例となっている三瓶小学校での介護教室は、3密を避け実施することで、高齢者目線での体験や、認知症の理解、福祉用具の体験を通じて介護の魅力を伝えることができた。また、地域のクリーン運動にも参加し、地域から信頼されるよう努めた。

事業報告 : 松葉学園

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	387,115,686	406,585,652	417,691,012	412,984,346
支出(円)	335,920,817	342,759,545	363,770,853	370,865,532
差額	51,194,869	63,826,107	53,920,159	42,118,814

○状況

松葉学園、いっとき館は、コロナの関係で利用が多少減ったり、入所利用者の入院もあったりしたが、収入への影響は少なかった。夢の家は、一人暮らしの開始や加算の減少、ぽのぽのは、コロナの影響での自粛や休園等があり、収入が減少した。

施設・設備整備積立金 : 30,000,000円

利用者推移

入所	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	24,202	26,155	25,389	25,871
前年比(%)	91.5%	108.1%	97.1%	101.9%

夢の家	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	13,244	13,686	13,752	13,240
前年比(%)	100.9%	103.3%	100.5%	96.3%

ぽのぽの	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	4,842	5,395	5,452	4,953
前年比(%)	105.2%	111.4%	101.1%	90.8%

いっとき館	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	6,487	6,358	7,289	7,233
前年比(%)	94.6%	98.0%	114.6%	99.2%

○状況

松葉学園は、利用者数に大きな変化はなく安定している。いっとき館も、コロナの影響で自粛される方もいたが、大きな影響はなかった。夢の家は、利用者の一人暮らしが実現し、グループホームを出られたこともあり、定員を満たしていない。3月に体験入居を経て、4月より新たな入居者もいるが、まだ空きもあるため、利用者のニーズに沿って進めていきたい。ぽのぽのは、コロナのため休園もあり、利用者数が減少した。

施設整備

- ・松葉学園フードプロセッサ、電解水生成装置購入
- ・松葉学園両開き門扉修理
- ・松葉学園公用車(タウンエーストラック)リース
- ・いっとき館耐震診断実施(パーラーりぷとん)
- ・ぽのぽのエアコン購入

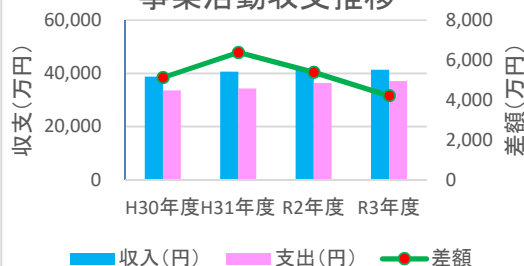
人材育成・研修

- ・全国規模の研修については、オンラインで参加
- ・OJTフェスティバル
- ・新人新任職員研修
- ・サポーター業務報告会
- ・虐待防止研修
- ・BCP等訓練

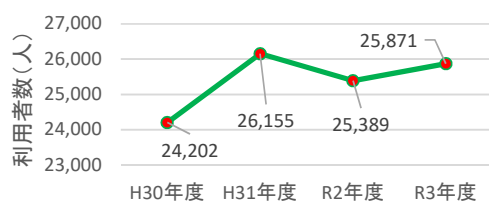
トピックス

- ・第三者評価受審
- ・コロナ禍の中でも創意工夫や発想の転換で、オンラインの利用やeスポーツ等、新しいことにも取り組んだ。

事業活動収支推移



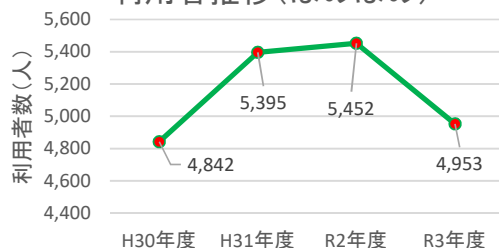
利用者推移(入所)



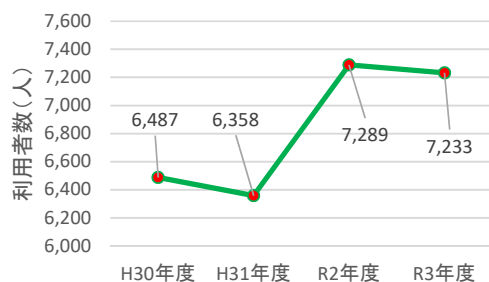
利用者推移(夢の家)



利用者推移(ぽのぽの)



利用者推移(いっとき館)



事業報告 : 希望の森

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	276,098,536	300,869,359	306,514,382	302,483,622
支出(円)	187,519,964	193,796,539	197,424,549	205,343,225
差額	88,578,572	107,072,820	109,089,833	97,140,397

○状況

支援施設についてはコロナの感染状況の悪化に伴い、通所、短期入所の利用自粛により稼働が減少し、また施設入所者が続けて死去されたことも影響し、事業活動収入が前の年度を下回る結果となった。相談支援事業については、相談支援専門員の配置の変更により基本報酬単価が、機能強化(Ⅱ)から機能強化(Ⅲ)に変更となり減収となっているが、サービス等利用計画作成件数の増加、新規利用者の獲得により、その影響については最小限に抑えることが出来た。

施設・設備整備積立金 : 76,000,000円

利用者推移

入 所	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	27,694	27,946	27,660	27,830
前年比(%)	101.8%	100.9%	99.0%	100.6%

短 期	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	1,423	1,522	1,360	1,413
前年比(%)	103.8%	107.0%	89.4%	103.9%

日中一時	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	174	317	332	373
前年比(%)	87.9%	182.2%	104.7%	112.3%

○状況

利用者の推移については、各事業ともに前の年度と大差はなかったが、年が明けてから、続けざまに施設入所者が亡くなり、現在、2床が空床となっている。早急に待機者の中から、条件に合う方を探す必要がある。

施設整備

- ・女性娯楽室のソファ4台
- ・インターネット回線増設
- ・全自動大型洗濯機
- ・電動入浴機器一式

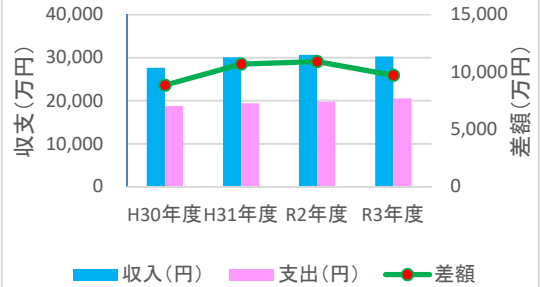
人材育成・研修

- ・介護技術研修
- ・摂食・嚥下についての研修
- ・ハラスメント研修
- ・強度行動障害研修(リモート)

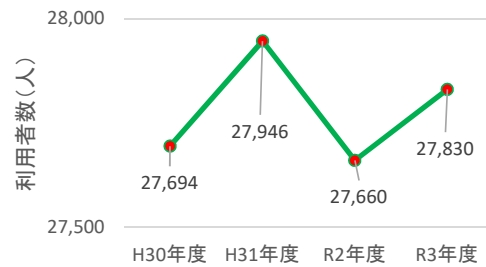
トピックス

利用者の高齢化・障害の重度化が顕著となってきており、更にはコロナの影響により帰宅、保護者の来園が非常に困難となっており、家庭との繋がりが希薄になることが懸念される。今後、リモートでの面会等、各家庭の状況を鑑みながら環境を整えていく。

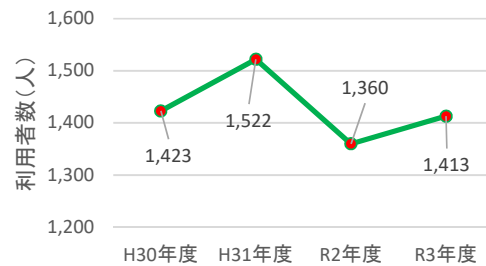
事業活動収支推移



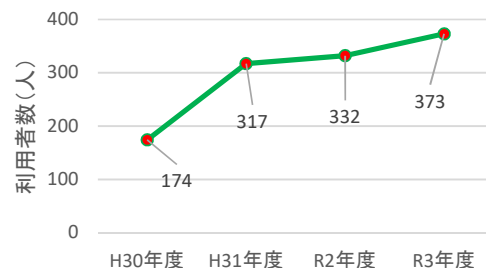
利用者推移(入所+生活介護)



利用者推移(短期)



利用者推移(日中一時)



事業報告 : ひまわりの家

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	168,427,790	184,170,063	185,160,127	209,556,593
支出(円)	146,699,798	147,248,776	151,541,126	159,578,231
差額	21,727,992	36,921,287	33,619,001	49,978,362

○状況

年度末実績で、養護は定員20名に対し3月現員18名と2名の措置児童減であったが、養護心理士、里親専門員、自立支援職員等の各種加算の取得による収入増により、一層安定した黒字収支となった。児童心理も定員10名に対し、現員7名と前年度比3名の増が好影響し、現在の暫定定員に対する措置費収入の状況下で2年ぶりの黒字決算となった。

施設・設備整備積立金 : 37,000,000円

利用者推移

児童養護	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	7,881	6,991	7,109	6,739
前年比(%)	114.1%	88.7%	101.7%	94.8%

児童心理	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	2,207	2,041	1,632	2,322
前年比(%)	120.1%	92.5%	80.0%	142.3%

○状況

年度末実績で、養護は定員20名に対し4月現員18名のスタートから、5月に1名入所するも9月に家庭復帰となり、その後新規入所はなく、高校卒業で2名退園し、3月末は16名の現員。児童心理は定員10名に対し、新規入所や治療終結にての家庭復帰と入退所はあったが、年間平均6.3名に利用頂けた。市内児童のショートステイも少数ながら受け入れ、地域家庭の子育て支援の一助となった。

施設整備

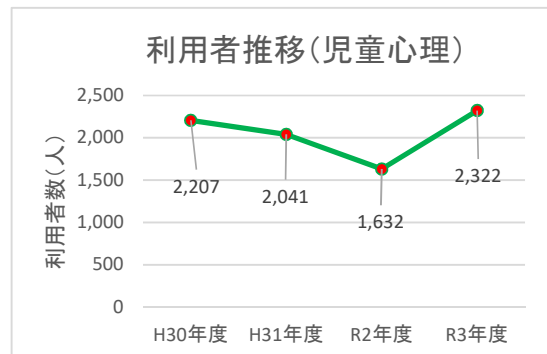
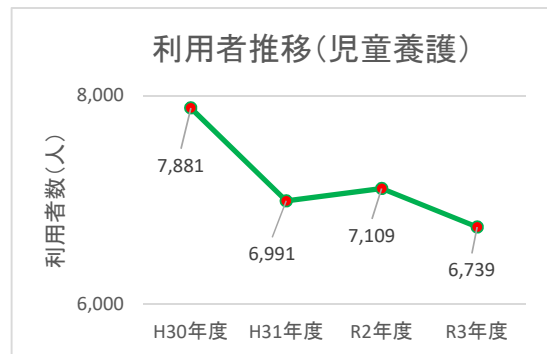
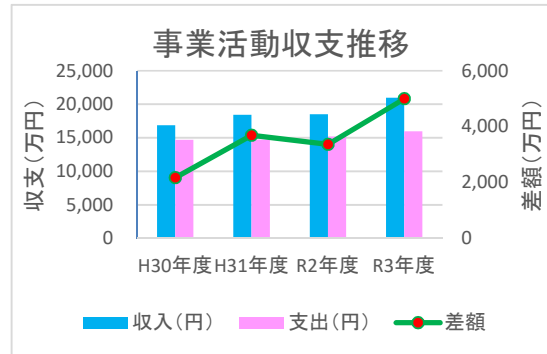
西予市ギガスクールに対応するために全ホームwifi環境整備
加湿器付き空気清浄機整備

人材育成・研修

各職員が講師となり、施設内研修を月1回定期的に実施。
10月と1月には虐待防止研修実施。

トピックス

令和4年1月に県から、2件の【児童への不適切と思われる行為があった】との報告書あり。臨時職員会で概要説明。翌2月に県子育て支援課に改善報告書提出。この改善策に基づいて、次年度以降も支援の見直しや風通しの職場作りをすすめていく。



事業報告 : うわまち未来こども園

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	211,502,826	207,084,192	190,832,091	168,673,752
支出(円)	174,617,254	163,996,312	154,470,701	144,278,857
差額	36,885,572	43,087,880	36,361,390	24,394,895

○状況

・定員190名のところ、141名の入園で、途中入園があり3月末には147名となったが、退園もあったため伸び悩んだ。
・学童も定員40名の所、年度途中から退所があり、収入が少なかった。

施設・設備整備積立金 : 16,000,000円

利用者推移

こども園	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	2,259	2,124	1,854	1,765
前年比(%)	—	94.0%	87.3%	95.2%

一時保育	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	162	442	345	354
前年比(%)	—	272.8%	78.1%	102.6%

学童保育	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	463	468	480	448
前年比(%)	—	101.1%	102.6%	93.3%

○状況

・一時保育は、コロナの影響で、希望者が少ない月もあったが、少しずつ増加していった。
・途中入園があったが、保育士不足の為入園希望があったが、受け入れが出来なかった。

施設整備

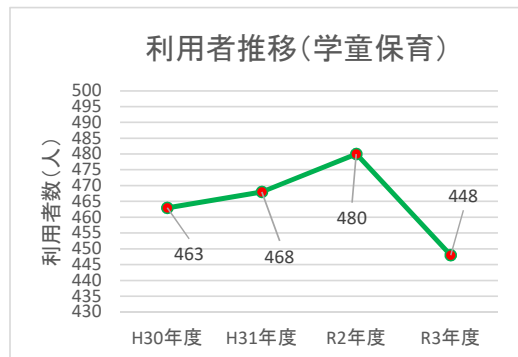
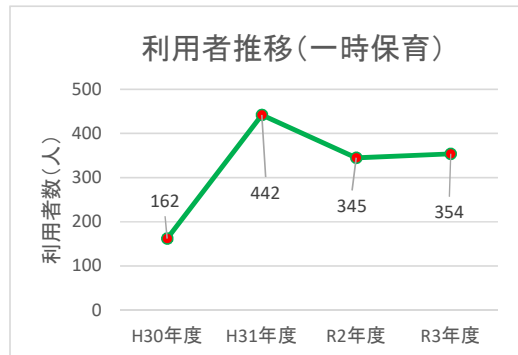
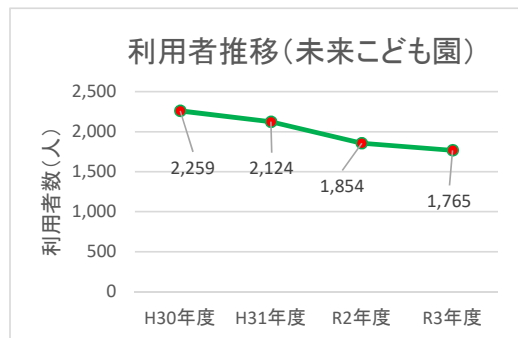
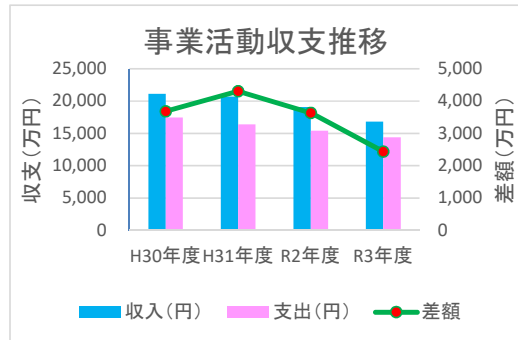
- ・砂場日除け設置工事
- ・無線Wi-Fi設置工事
- ・プラズマクラスター機能付全自動洗濯乾燥機(コロナ補助金)
- ・防災倉庫
- ・エンジン発電機
- ・殺菌線消毒ロッカー
- ・土壌改良水捌け工事改良工事

人材育成・研修

- ・OJT新人・新任研修(絵本の読み聞かせ・選び方・グループワーク)
- ・西予市保育協議会研修会(人権・災害について等)
- ・保育士キャリアアップ研修(乳児保育・幼児保育・障がい児保育等)
- ・愛媛県教育・保育施設初級職員研修会
- ・全国保育士研究大会
- ・四国ブロック 保育研究大会
- ・絵画・創作部会
- ・園内研修

トピックス

・令和3年度の親子遠足は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、3歳以上児クラスのみ実施し、保護者1名参加してもらって自然の中へ出かける遠足とした。保護者からはゆったり関わられて、楽しむことが出来たとの声をいただき良かった。また、他行事もクラスごとで、感染対策を徹底しながら実施し、好評だった。
・保育園で、安全・安心に快適に過ごせるように遊具や環境の整備をした。



事業報告 : 中川保育園

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	100,221,378	87,793,279	92,138,017	95,781,009
支出(円)	74,258,486	70,848,427	75,360,296	79,332,415
差額	25,962,892	16,944,852	16,777,721	16,448,594

○状況

- ・今年度も4月当初より定員を大幅に超える入所となったが、低年齢児の入園の受け入れに伸び悩んだ。
- ・学童保育では、1年生の利用が減った為、全体的に利用者も少なかった。

施設・設備整備積立金 : 15,000,000円

利用者推移

保育園	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	854	706	704	815
前年比(%)	121.3%	82.7%	99.7%	115.8%

学童保育	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	377	410	382	282
前年比(%)	133.2%	108.8%	93.2%	73.8%

○状況

- ・4月当初から定員を超える入所となったため、途中入園の受け入れが出来なかった。
- ・学童保育では、ななほし中川1か所で保育できる人数となった。定員の26名は超えてのスタートではあったが、少しずつ利用も減った。

施設整備

保育園

- ・ステンレス歯ブラシ除菌庫、SUS歯ブラシコップ除菌収納庫(コロナ補助金)
- ・発電機 ・エアコン洗浄(6基)

学童

- ・パソコン2台・スクリーン・プロジェクター(ICT補助金)

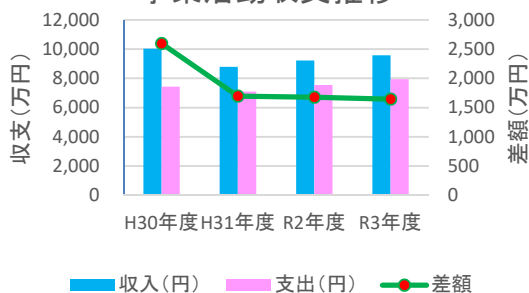
人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修(コロナ対策として録画配信)
- ・新人・新任職員研修会 ・OJT研修
- ・西予市保育協議会研修会 ・各部会研修(絵画・創作)
- ・園内研修(毎月) ・リモート研修

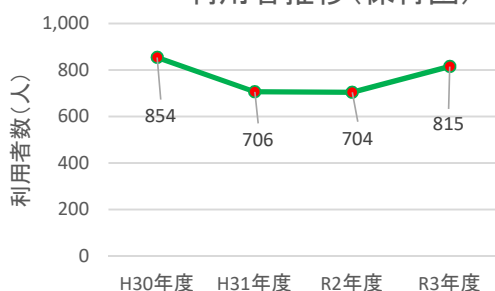
トピックス

- ・中川保育園は、周囲を自然に囲まれており、地域とのつながりのある保育園だが、今年度も新型コロナウイルスの影響で、地域やお年寄りとの交流が出来なかった。保育園の行事は、感染防止対策を行い、保護者の協力のもと様々な工夫をし出来る範囲内で実施することが出来た。
- ・保育理念の「生きる力を培う」の基、園外保育や食育事業など自然の中での体験を多く取り入れ、また、異年齢や様々な人との関わりを通して、優しさや思いやりの気持ちが育っている。
- ・学童保育では、ななほし中川の1か所での保育となり、子どもも職員も落ち着いて過ごせた。今年度はコロナの影響でお年寄りとの交流もなく残念だった。様々な行事も出来なかったが、色々工夫をして子どもたちが楽しめる取り組みを行った。

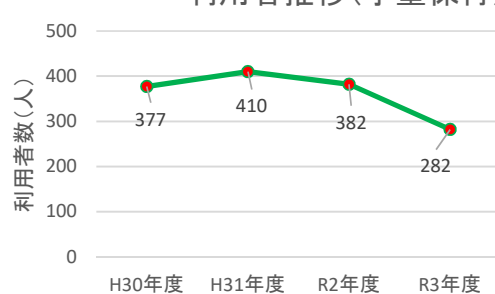
事業活動収支推移



利用者推移(保育園)



利用者推移(学童保育)



事業報告 : 田之筋保育園

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	68,845,531	80,324,635	91,382,285	77,688,132
支出(円)	51,934,607	64,232,664	64,398,259	64,330,542
差額	16,910,924	16,091,971	26,984,026	13,357,590

○状況

H31(R1)、R2年度と比べ、園児が減ったことで収益が減ってきているが、それでも定員を大きく超過した状態であり、R4年度より50名に利用定員を引き上げた。

施設・設備整備積立金 : 13,000,000円

利用者推移

保育園	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	561	579	711	626
前年比(%)	119.9%	103.2%	122.8%	88.0%

○状況

昨年度より入園児数は減ったものの、40名の定員に対して月平均52名であった。

施設整備

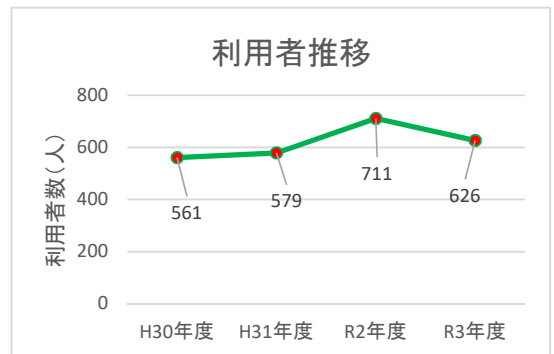
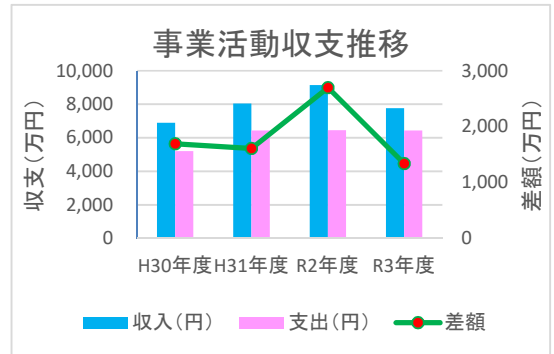
- ・ブランコの撤去・設置
- ・土管トンネルサイド土留
- ・外部塗装修繕
- ・園庭側溝補修
- ・SUS歯ブラシ・コップ除菌収納

人材育成・研修

- ・保育士等キャリアアップ研修会
- ・法人主催研修会(OJT、各委員会)
- ・部会研修(絵画、創作)
- ・西予市保育協議会研修会
- ・園内研修

トピックス

・コロナ禍により、親子遠足等の人数が集まる行事は中止したが、夕涼み会、運動会、発表会等、組で分けるなどの工夫にて開催する事ができた。



事業報告 : 下宇和保育園

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	66,378,694	88,116,920	64,893,108	58,500,023
支出(円)	59,772,212	68,393,807	57,347,544	55,860,619
差額	6,606,482	19,723,113	7,545,564	2,639,404

○状況

- ・下宇和保育園:途中入園もあったが、定員40名を超える利用者数の確保はできず減収となった。
- ・明下田クラブ:田之筋地区の放課後子ども教室が、学校長期休業中も営業をすることとなり、そちらを利用することを理由に退会する児童が9名いたが、運営は安定していた。

施設・設備整備積立金 : 7,000,000円

利用者推移

保育園	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	493	635	466	423
前年比(%)	107.2%	128.8%	73.4%	90.8%

学童保育	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	303	359	420	332
前年比(%)	72.3%	118.5%	117.0%	79.0%

○状況

- ・定員40名に対し年度当初は33名。途中入園もあり年度末には38名であった。
- ・明下田クラブ、年度当初36名(皆田小18名・田之筋小18名)であったが、途中退会者もあり、年度末20名(皆田小12名・田之筋小8名)であった。

施設整備

下宇和保育園

- ・洗濯機故障により更新(新規洗濯機に取替設置)
- ・雲梯遊具撤去及び取付工事
- ・3連鉄棒撤去及び配送設置工事
- ・保育園正面入口門扉修繕
- ・保育園正門入口照明ポール設置工事
- ・ホール業務用ストーブ故障により更新(新規ストーブに取替設置)
- ・殺菌消毒用ロッカーと歯ブラシスタンドの購入

明下田クラブ

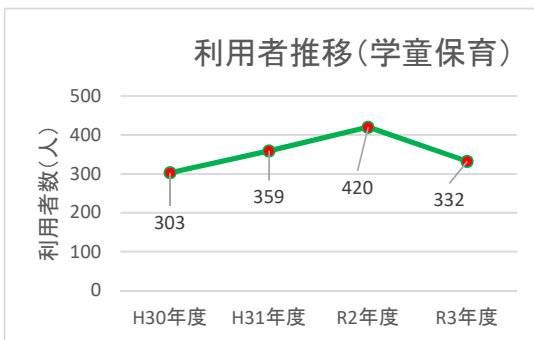
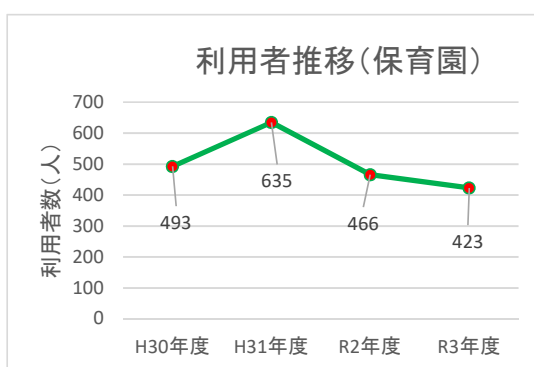
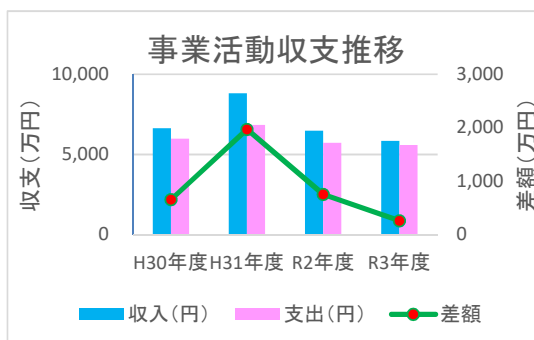
- ・新型コロナ補助金(・オゾン脱臭機購入・モニターディスプレイ・スタンド
- ・アンプ購入設置・無線Wi-Fi機器設置工事)・駐車場整備

人材育成・研修

- ・西予市保育協議会研修・保育士等キャリアアップ研修
- ・部会研修(創作・絵画)・法人主催研修(OJT・各部会)
- ・ハラスメント研修・園内研修

トピックス

- ・コロナ禍の中、アイデアを出し合い、園内外の行事等実施し好評であった。
- ・運動会・ハッピー会を明間保育園と合同で開催した。
- ・保護者より、保育園門扉前を出てすぐが道路の為子供の飛び出し等危険、駐車場が遠く雨の日に子供を抱いて荷物やふんを持って移動するのがとても大変、冬など日が短い時など街灯がなく暗くて危険など改善の要望があり、保育園正門入口に照明ポールを設置した。12/16西予土木事務所の指導により門扉前のカラーコーン撤去後、園児の車道への飛び出しや歩道への車輛の侵入等、保育園利用中の安全面に、より一層配慮し保護者にも登園・降園時等、気を付けていただくようお願いをしているが、心配は尽きない。令和4年度には保育園と学校プール間の道側フェンスより保育園に出入りをする扉を新設し使用することで安全を確保したいと考えている。



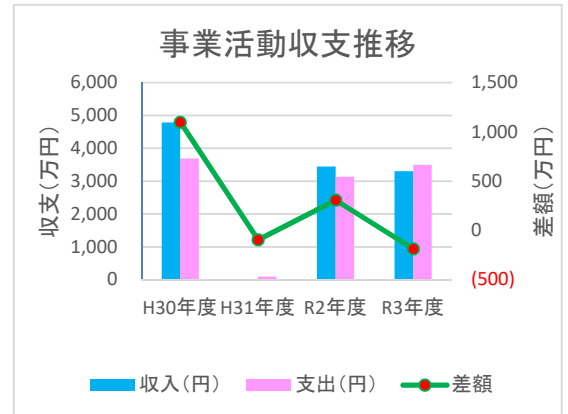
事業報告 : 明間保育園

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	47,844,544	0	34,434,634	33,035,481
支出(円)	36,867,154	940,318	31,360,429	34,892,753
差額	10,977,390	△ 940,318	3,074,205	△ 1,857,272

○状況

・定員20名に対し年度当初は10名。途中入園(6月1名、7月1名、8月1名、10月1名、3月2名の途中入所あり)もあり年度末には16名であった。常に定員割れの状況でありマイナス収支となった。

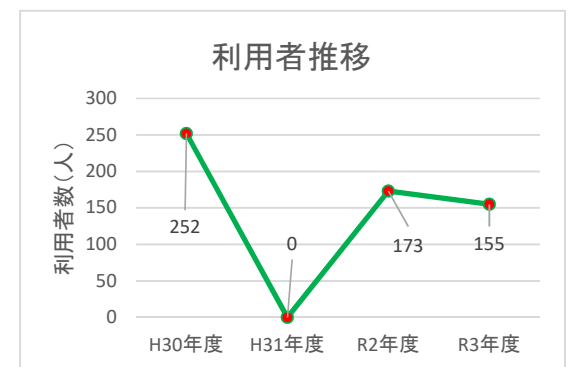


利用者推移

保育園	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	252	0	173	155
前年比(%)	120.6%	-	-	90.0%

○状況

明間保育園の園児は、ここ近年定員割れの状態が続いている。要因としては、地区外児童の割合が高く、地区内児童数が少ないことにより他の保育所の入所状況によって入園児数が左右されている。西予市全体の出生数が減少していることを考えれば、その他の地区からの利用者は徐々に減少することが見込まれる。また、平成29年から、明間小学校が皆田小学校に統合されたことにより、特に年長児が下宇和保育園を希望される保護者の方もおられ、なお一層入所児童の減少が心配される。



施設整備

- ・給水管漏水修繕
- ・西予市コロナ補助金活用し、消毒BOX・非接触型検温器・自動除菌ミストガン購入

人材育成・研修

- ・西予市保育協議会研修
- ・保育士等キャリアアップ研修
- ・部会研修(創作・絵画)
- ・法人主催研修(OJT・各部会)
- ・ハラスメント研修・園内研修

トピックス

- ・令和4年度より、明間地区で保育所を存続していくため、下宇和保育園の分園とする。分園は、施設長が兼務でき、調理は本園で行えることで、支出を減らすことが出来る。また、施設長を置かないことで、リーダー層職員のスキルアップの機会にすることが出来るといったメリットがある。
- ・令和4年度の年長児0名
- ・コロナ禍であったが、山の整備・地域行事への参加等行い、地域の方に喜んでいただき、子ども達も喜んでいて。今後も、地域とのつながりを大切にしていきたい。
- ・運動会・ハッピー会を下宇和保育園と合同で開催した。

事業報告 : 宇和保育園

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	141,279,728	149,728,497	143,590,964	153,313,304
支出(円)	124,085,363	132,443,586	122,894,657	129,644,067
差額	17,194,365	17,284,911	20,696,307	23,669,237

○状況

定員を超えての利用があり、また未満児も多かったため、収入は増えている。玩具や絵本などの購入や施設整備での支出は増えたが、差額は昨年より増であった。

施設・設備整備積立金 : 21,000,000円

利用者推移

保育園	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	1,453	1,508	1,369	1,471
前年比(%)	90.3%	103.8%	90.8%	107.5%
一時保育	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	702	386	379	527
前年比(%)	137.9%	55.0%	98.2%	139.1%
支援センター	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	4,566	4,139	2,519	2,108
前年比(%)	83.2%	90.6%	60.9%	83.7%
学童保育	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	684	657	633	491
前年比(%)	72.3%	96.1%	96.3%	77.6%

○状況

コロナの影響もあり、センターの利用者は伸びなかったが、保育園と一時保育の利用者は順調であった。

施設整備

手洗いカウンター設置工事 外部時計取替工事 洗濯乾燥機
殺菌線消毒ロッカー エンジン発電機 タブレット型PC エアドック

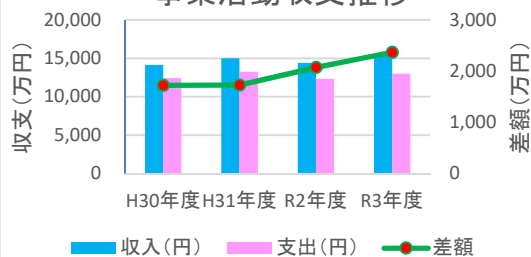
人材育成・研修

キャリアアップ研修
OJT研修(新人・新任研修)
園内研修

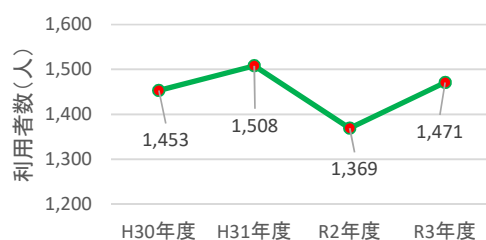
トピックス

コロナ禍での園生活や各行事も新しいやり方を検討し、ほぼ実施できており、落ち着いてきているように思う。
職員のストレスチェックでは、かなり良い数値に回復してきた。
離職率も最低数に抑えられた。

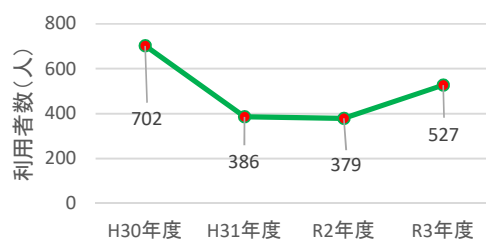
事業活動収支推移



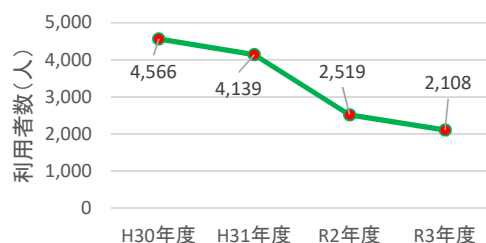
利用者推移(保育園)



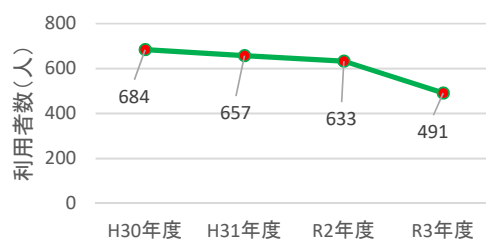
利用者推移(一時保育)



利用者推移(支援センター)



利用者推移(学童保育)



事業報告 : 石城保育園

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	73,196,454	69,412,741	63,379,959	63,503,749
支出(円)	55,912,181	57,001,920	55,693,522	59,123,986
差額	17,284,273	12,410,821	7,686,437	4,379,763

○状況

・老朽化による遊具の修繕や、エアコン(3台)、自動火災報知設備の設置等の費用がかさんだ。
・11月からは4名の0歳児が在籍していたが、年間通して定員割れの状況であった。

施設・設備整備積立金 : 2,000,000円

利用者推移

保育園	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	596	613	581	553
前年比(%)	—	102.9%	94.8%	95.2%

○状況

・新年度44名でスタートし、7名の途中入園、3名の途中退園があり、年度末には48名となった。今年度は、定員50名に達する月がなかった。

施設整備

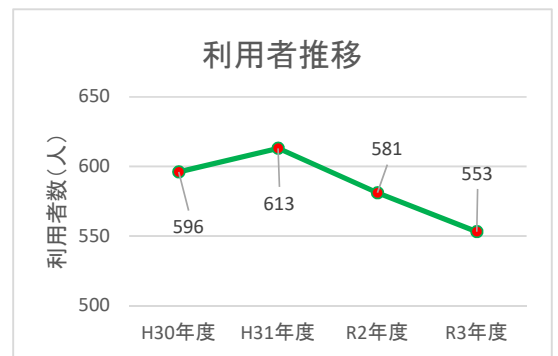
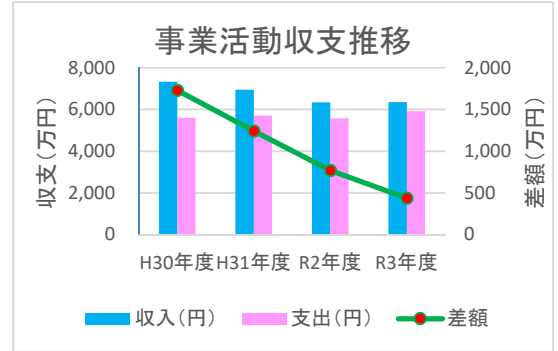
・給食室エアコン ・乳児室エアコン
・ホール、乳児室 天井扇風機
・ホールLED照明 ・乳児室カーテン
・幼児用椅子 ・自動火災報知設備 ・物置
・オートディスペンサー
・ジャングルジム改修 ・登り棒撤去

人材育成・研修

・キャリアアップ研修 ・OJT研修 ・絵画部会、創作部会
・西予市保育協議会研修会 ・南予地区人権同和教育研究協議会
・保育施設等における新型コロナウイルス感染症等の予防対策
・四国ブロック保育研究大会 ・四国地区人権教育研究大会
・社会福祉法人セミナー ・保育事業経営セミナー
・愛媛県教育・保育施設長研修会 ・愛媛県保育事業研修大会
・全国保育研究大会 ・全国保育士会研究大会

トピックス

・今年度も、新型コロナウイルス禍での行事開催にあたり、規模を縮小したり 内容を工夫したりしながら、感染防止対策を行い実施した。
・【豊かな自然と地域の人たちとの関りの中で、一人ひとりが輝き「生きる力」を培う】の保育理念の基、マンモス田や笠置古墳などに出かけ、自然の中での体験を多く取り入れ、豊かな心や逞しい体が育っている。



事業報告 : 多田保育園

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	50,343,211	42,622,981	44,718,631	56,782,363
支出(円)	44,494,492	41,564,814	38,283,804	41,246,616
差額	5,848,719	1,058,167	6,434,827	15,535,747

○状況

・年間通して定員の20名を超える利用者があり、また未満児の利用者が多く、0歳児も4名の利用者があったため、収入増となった。

施設・設備整備積立金 : 13,000,000円

利用者推移

保育園	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	318	281	287	310
前年比(%)	—	88.4%	102.1%	108.0%

○状況

・24名でスタートし、5月1名、9月1名、11月1名の途中入園が3名あり、計27名の利用者があった。地域外からの利用者は4名であった。

施設整備

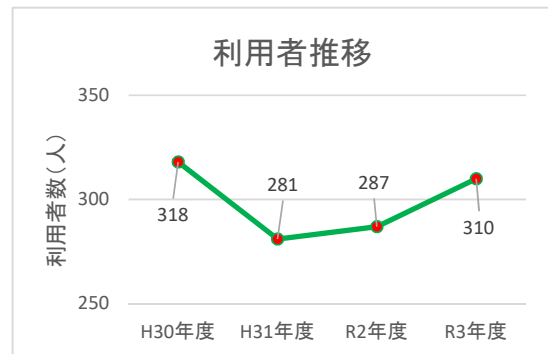
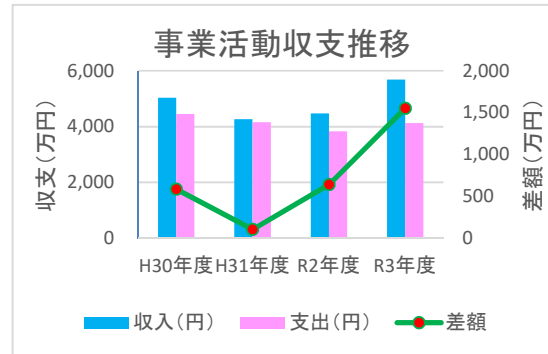
- ・登り棒修繕工事
- ・雲梯修繕工事
- ・メリーゴーランド撤去工事
- ・玄関鉄製門修繕工事
- ・オゾン式保管庫購入

人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修(eラーニング)
- ・四国ブロック保育研究大会・全国保育士会研究大会(リモート研修)
- ・法人主催研修(OJT・部会研修等)
- ・西予市保育協議会研修会(人権について等)
- ・園内研修(自己評価・人権擁護セルフチェック・リスクについて等)

トピックス

・コロナ禍の中、行事等の縮小など制限を余儀なくされることもあったが、感染症予防に努めながら、内容を工夫し、行事や活動を行った。
・昨年度より延期になっていた第三者評価を受審した。運営や保育を振り返る良い機会となった。



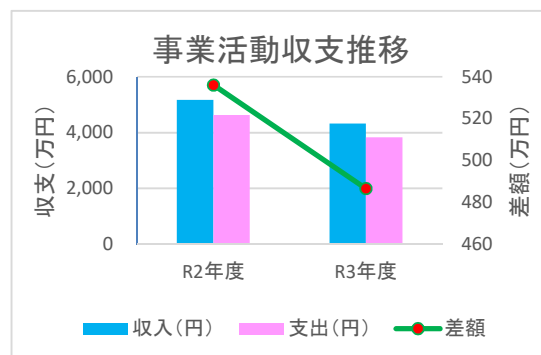
事業報告 : 高山保育園

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	—	—	51,673,421	43,181,003
支出(円)	—	—	46,312,843	38,315,427
差額	—	—	5,360,578	4,865,576

○状況

新園舎に移転し新しい環境の下保育を行った。
修繕費等多額な支出がなく、事業活動収支ではプラスが出ている。
西予市からの補助金が850万円入っており、補助金がない場合約370万円の資金収支のマイナスとなる。

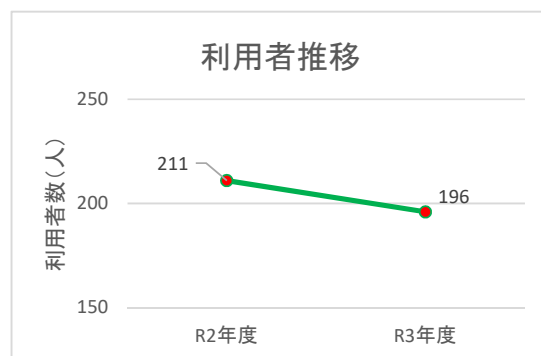


利用者推移

保育園	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	—	—	211	196
前年比(%)	—	—	—	92.9%

○状況

4月15名でスタートした。途中入園、退園があり、年間トータルでは196名、月平均では16.3名であった。里帰り出産、俵津保育所や宇和地区で入園できない園児の受け皿として園児数を確保できている状況である。高山地区のみで想定するを月平均14.9名となる。高山地区の出生児を考えると、増える状況にはないと思われる。



施設整備

コロナウィルス感染対策のため、空気清浄機、オゾン発生器購入。

人材育成・研修

キャリアアップ研修(障がい児保育)
園内研修(ハラスメント、感染症、AED、リスク、保育研修等)

トピックス

今年度より新園舎での保育が始まった。以前の保育園に比べ、園舎や園庭が狭いが、その中で体育館の利用や園外保育を行うことで幅広い保育を行ってきた。
利用者の中に今年度11月から北海道から帰郷された家族が宇和地区の保育園に入園できず、当保育園に3名入園された。このような移住者の受け皿になることが出来た。

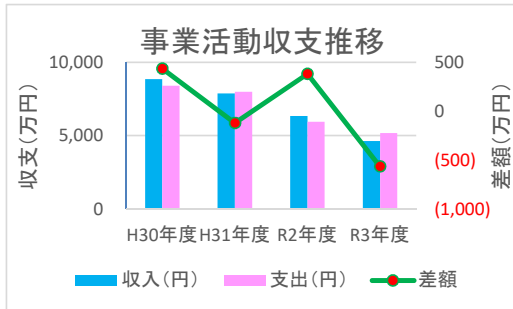
事業報告 : 松葉診療所

事業活動収支推移

	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
収入(円)	88,436,319	78,760,391	63,388,618	46,219,939
支出(円)	84,091,332	79,978,864	59,563,857	51,871,547
差額	4,344,987	△ 1,218,473	3,824,761	△ 5,651,608

○状況

コロナ流行による受診の控え・休院に向けての他院振り分けにより、収入が減少したと思われる



利用者推移

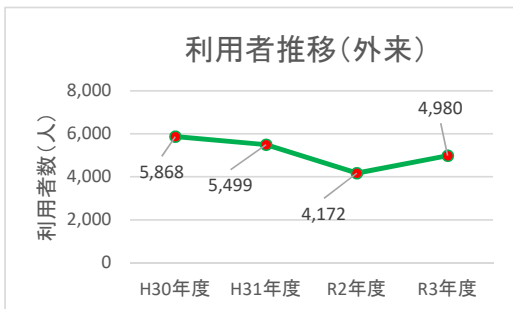
外 来	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	5,868	5,499	4,172	4,980
前年比(%)	90.7%	93.7%	75.9%	119.4%

訪問診療	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	1,191	1,065	783	462
前年比(%)	127.8%	89.4%	73.5%	59.0%

往 診	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
利用者(人)	221	132	135	52
前年比(%)	75.7%	59.7%	102.3%	38.5%

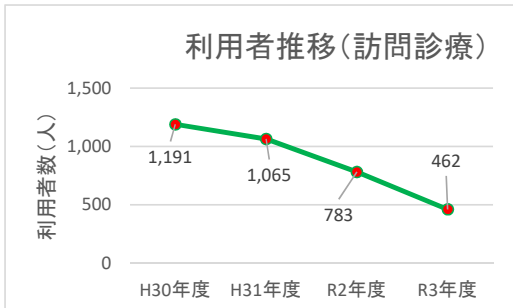
○状況

コロナ流行による受診の控え・休院に向けての他院振り分けにより、収入が減少したと思われる



施設整備

休院に伴う引っ越し



人材育成・研修

トピックス

3/22～24 宇和島市医師会・西予市医師会への休院挨拶回り
 3/25 外来終了
 3/31 松葉診療所 休院

